

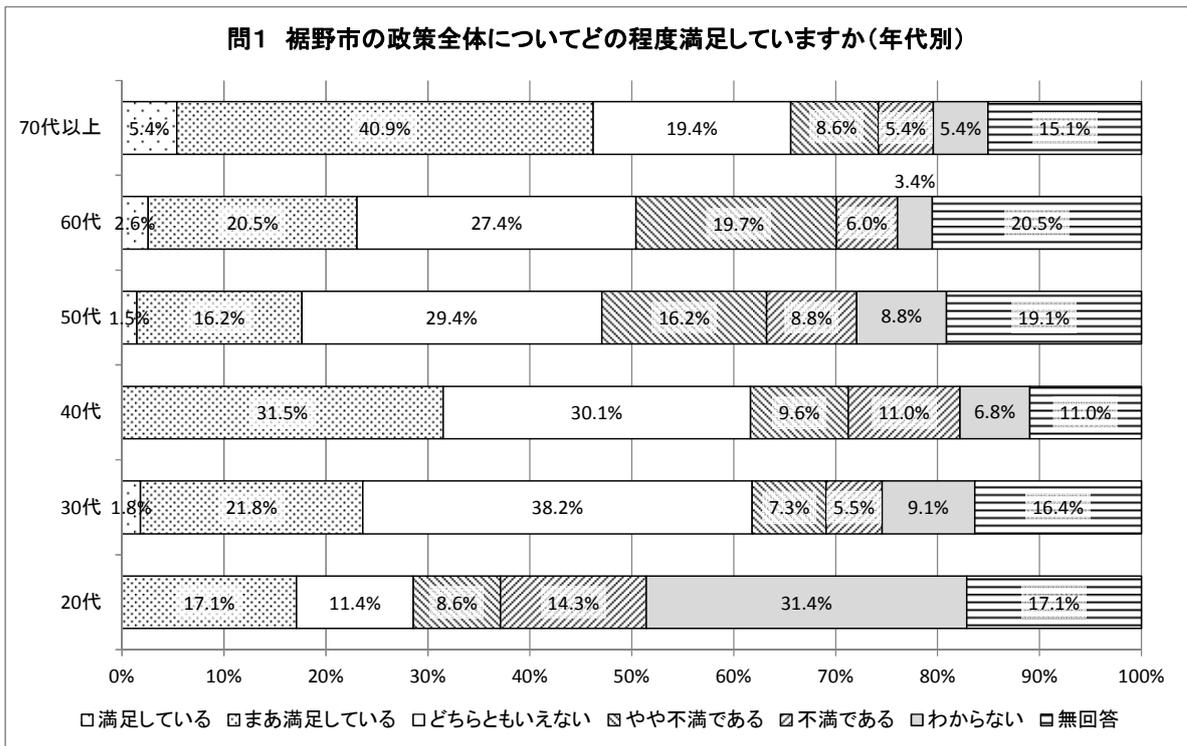
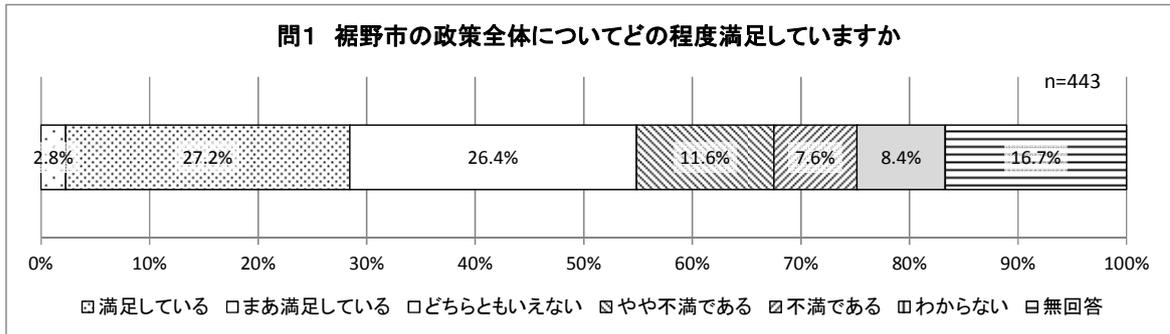
# 調査結果

## 裾野市の市政全般について

問1 裾野市の市政全般についてどの程度満足していますか

「満足している」「まあ満足している」を合わせて 30.0%、「やや不満である」「不満である」を合わせて 19.2%、「どちらともいえない」26.4%であり、市政全体についての満足度は比較的高いといえる。

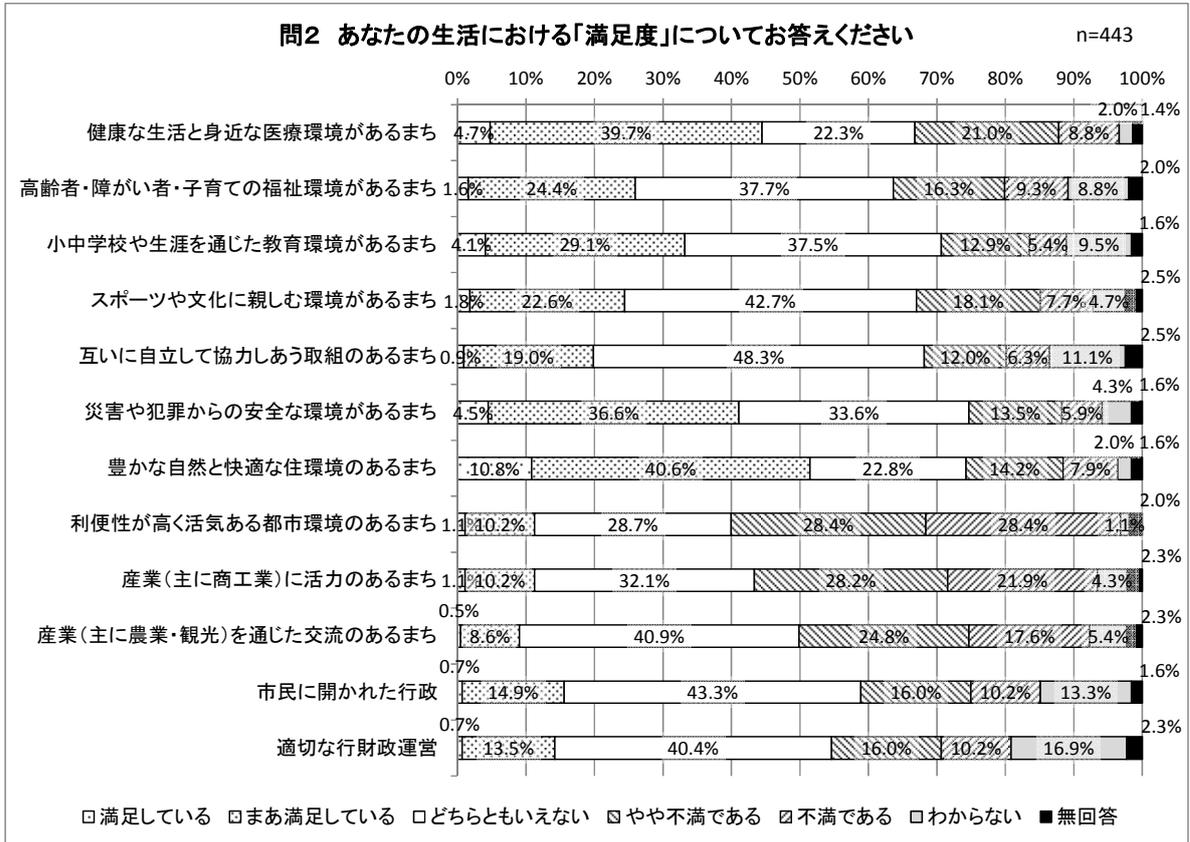
年代別にみると、「満足している」「まあ満足している」の割合がもっとも高いのは70代以上である。逆にもっとも低いのは20代であり、50代、60代も割合が低くなっている。



問2 あなたの生活における「満足度」と「重要度」それぞれについてお答えください。

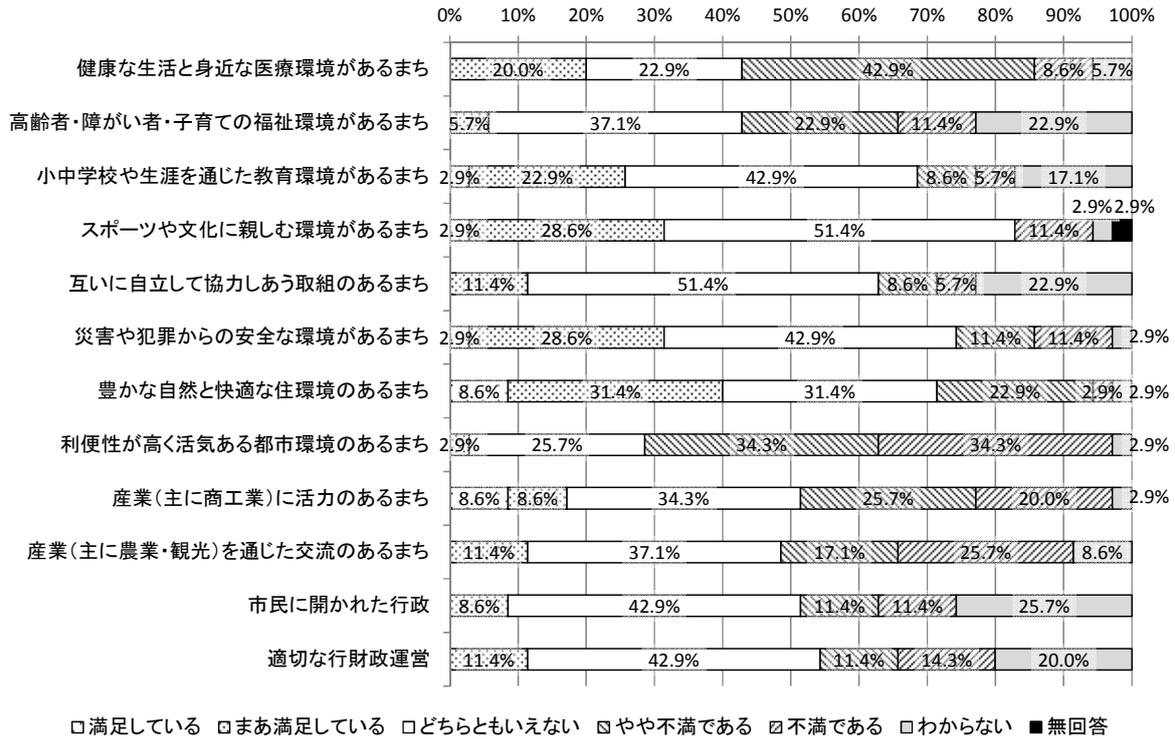
「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合が最も高いのは、「豊かな自然と快適な住環境のあるまち」であり、次いで「健康な生活と身近な医療環境があるまち」、「災害や犯罪からの安全な環境のあるまち」となっている。一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた割合が最も高いのは、「利便性が高く活気ある都市環境のあるまち」であり、次いで「産業（主に商工業）に活力のあるまち」、「産業（主に農業・観光）を通じた交流のあるまち」となっている。

年代別クロス集計は以下のとおりである。



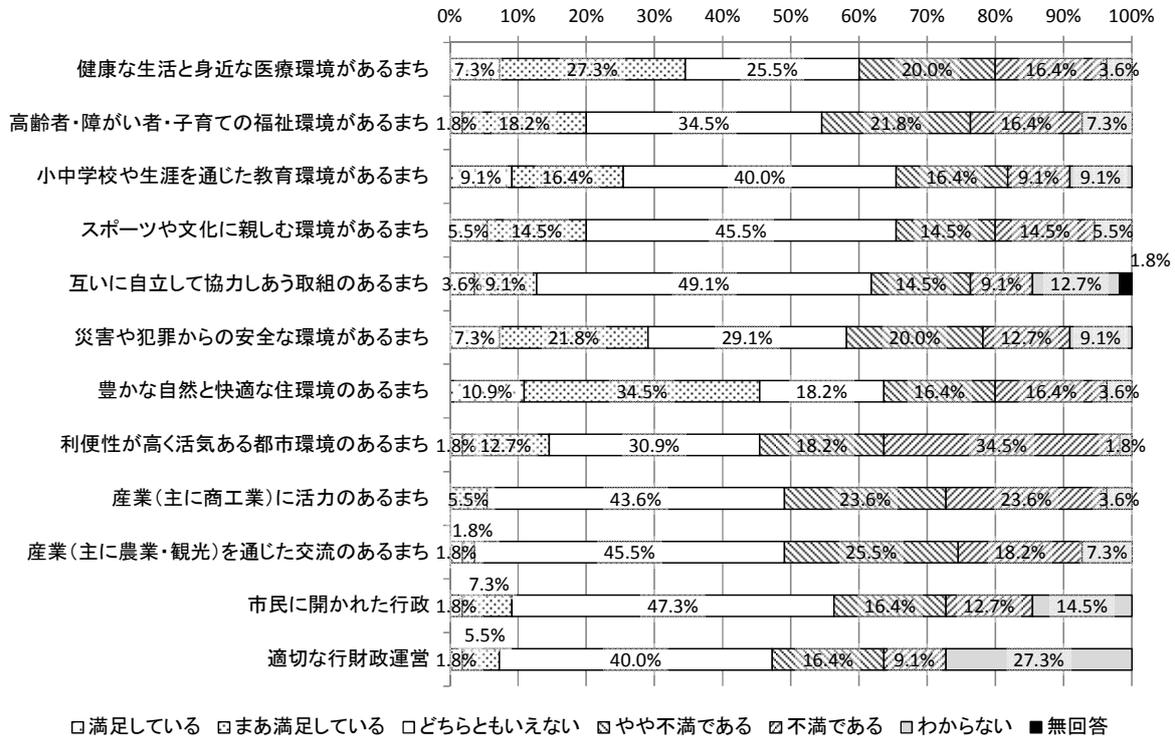
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(20代)

n=35



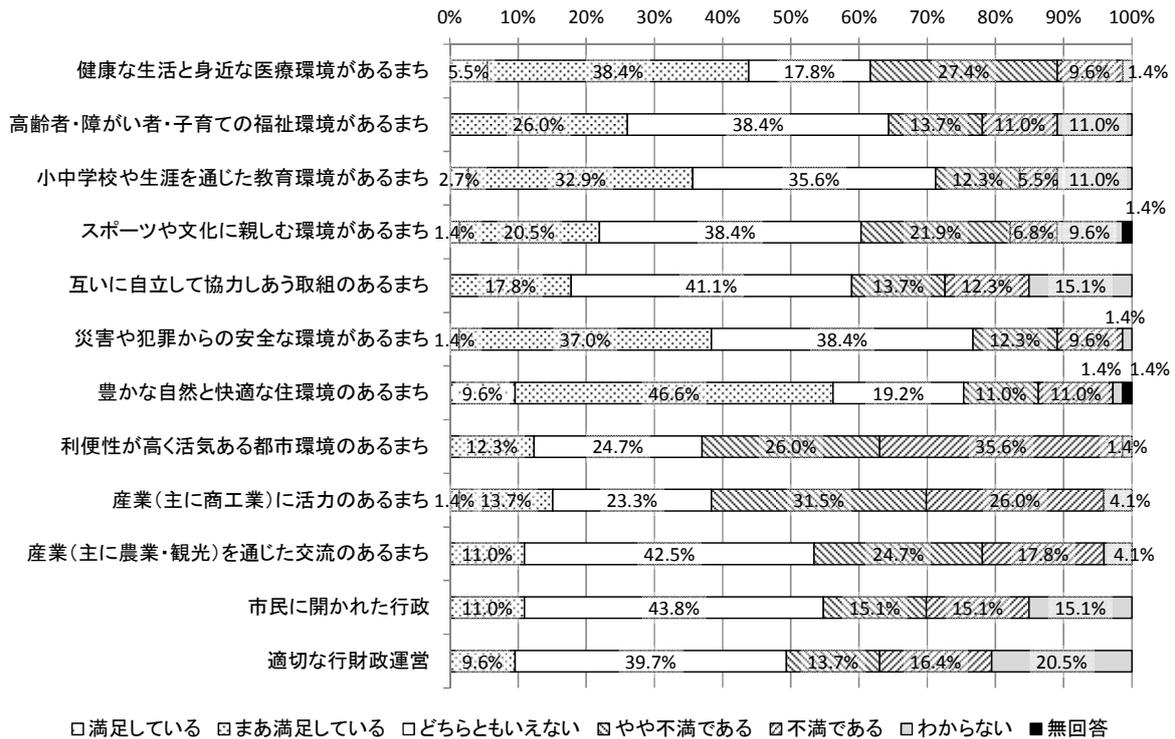
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(30代)

n=55



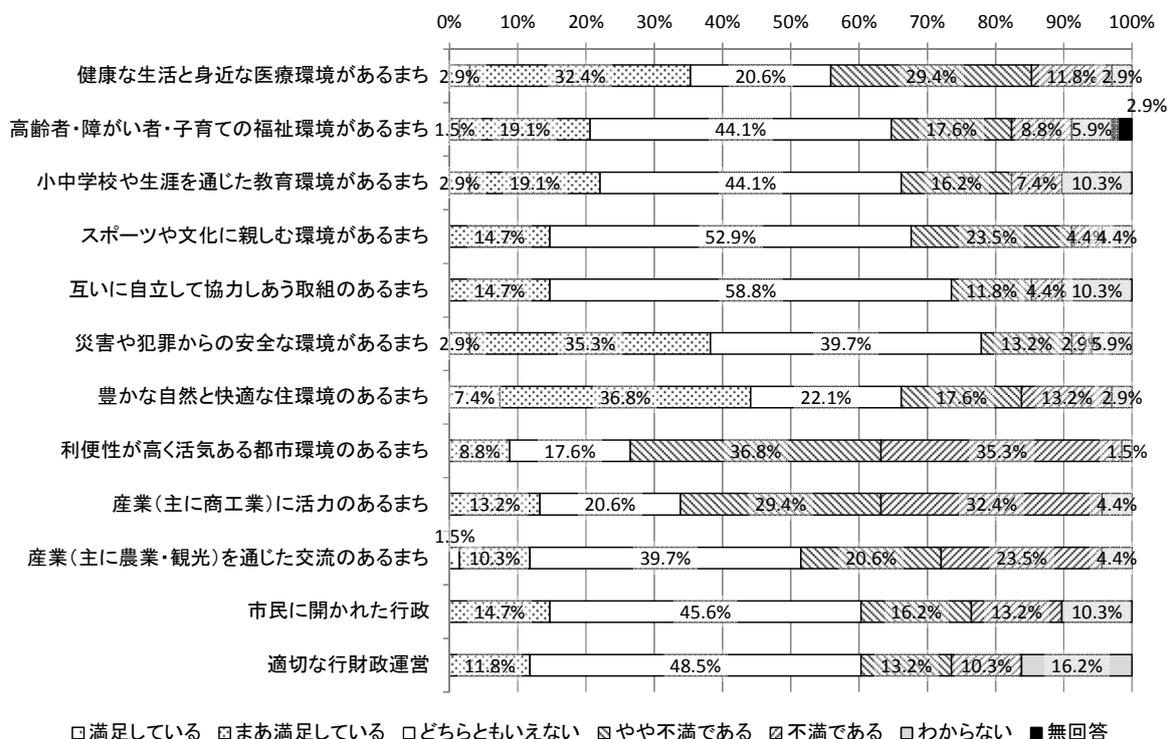
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(40代)

n=73



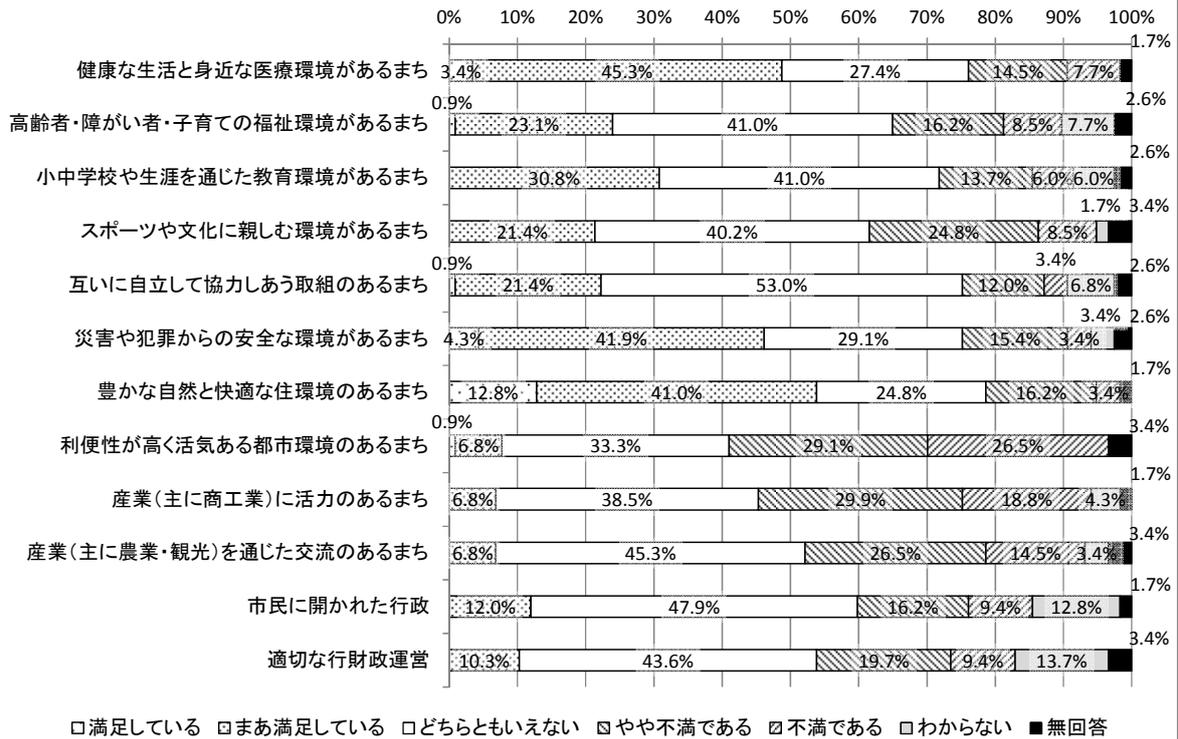
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(50代)

n=68



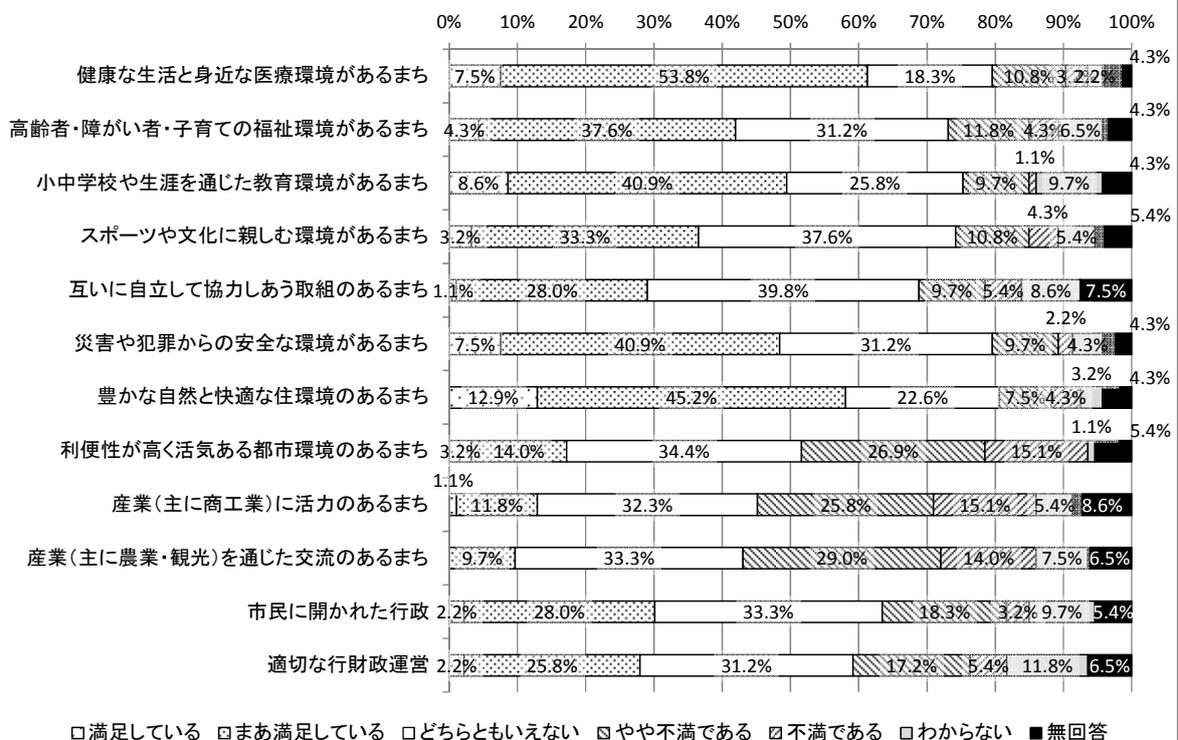
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(60代)

n=117



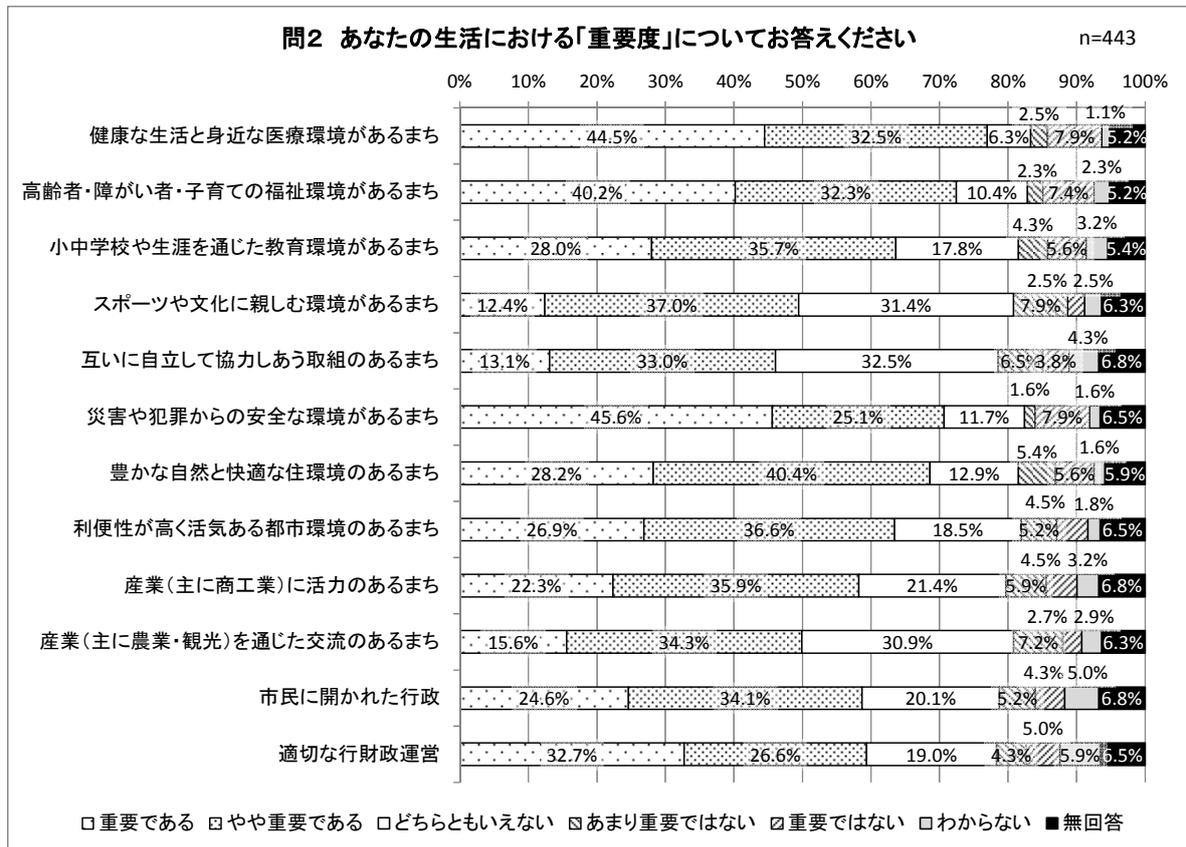
問2 あなたの生活における「満足度」についてお答えください(70代以上)

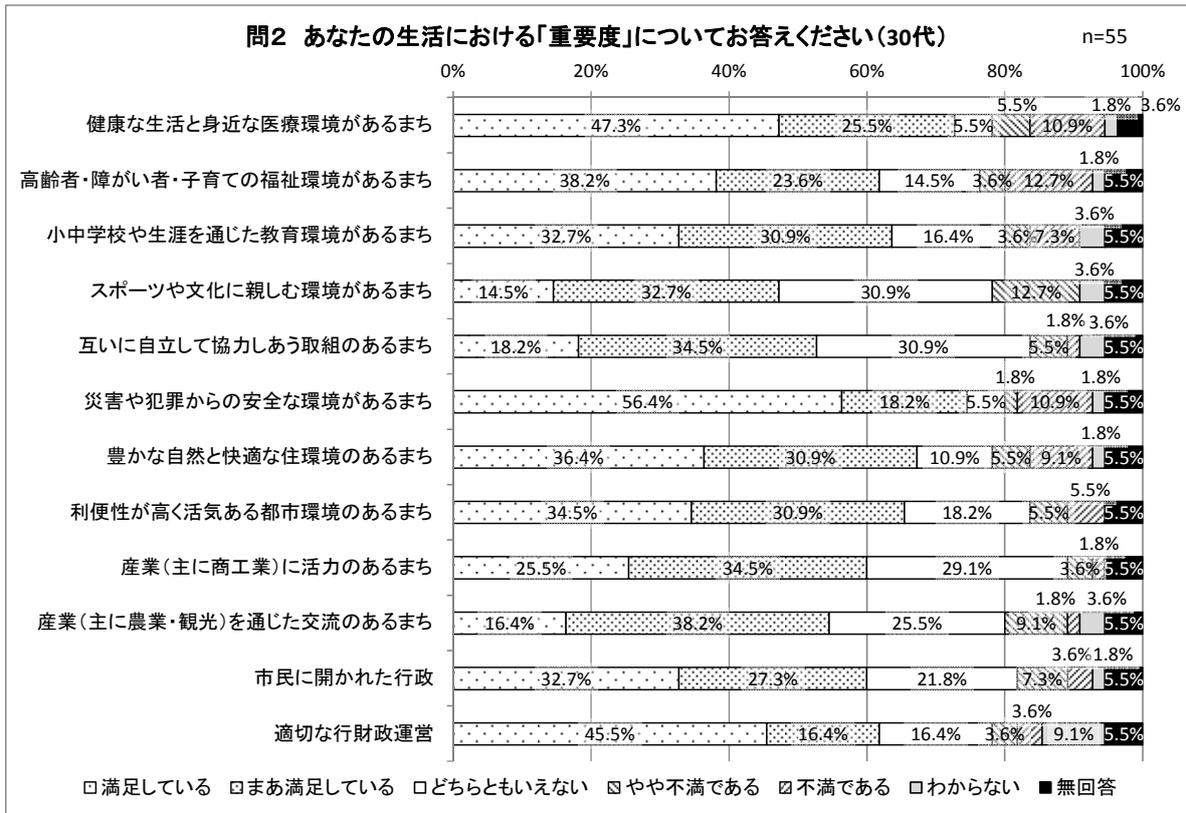
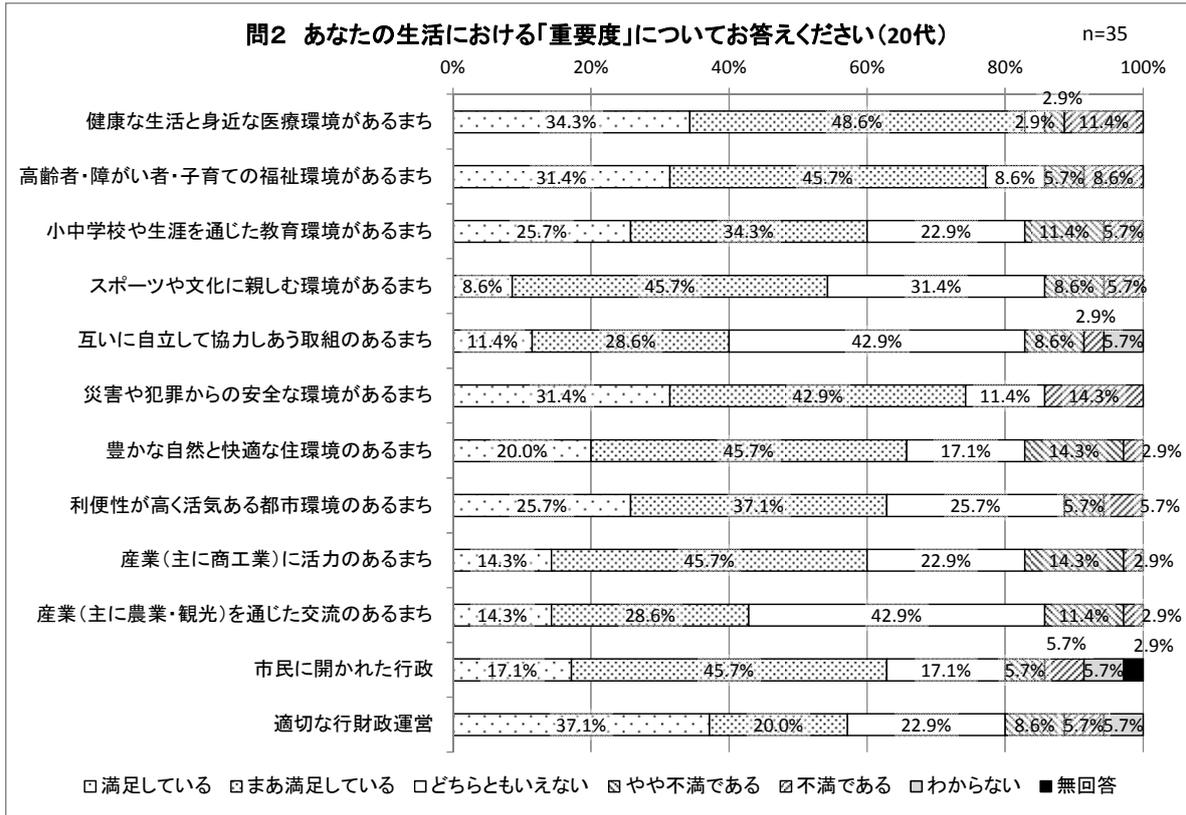
n=93

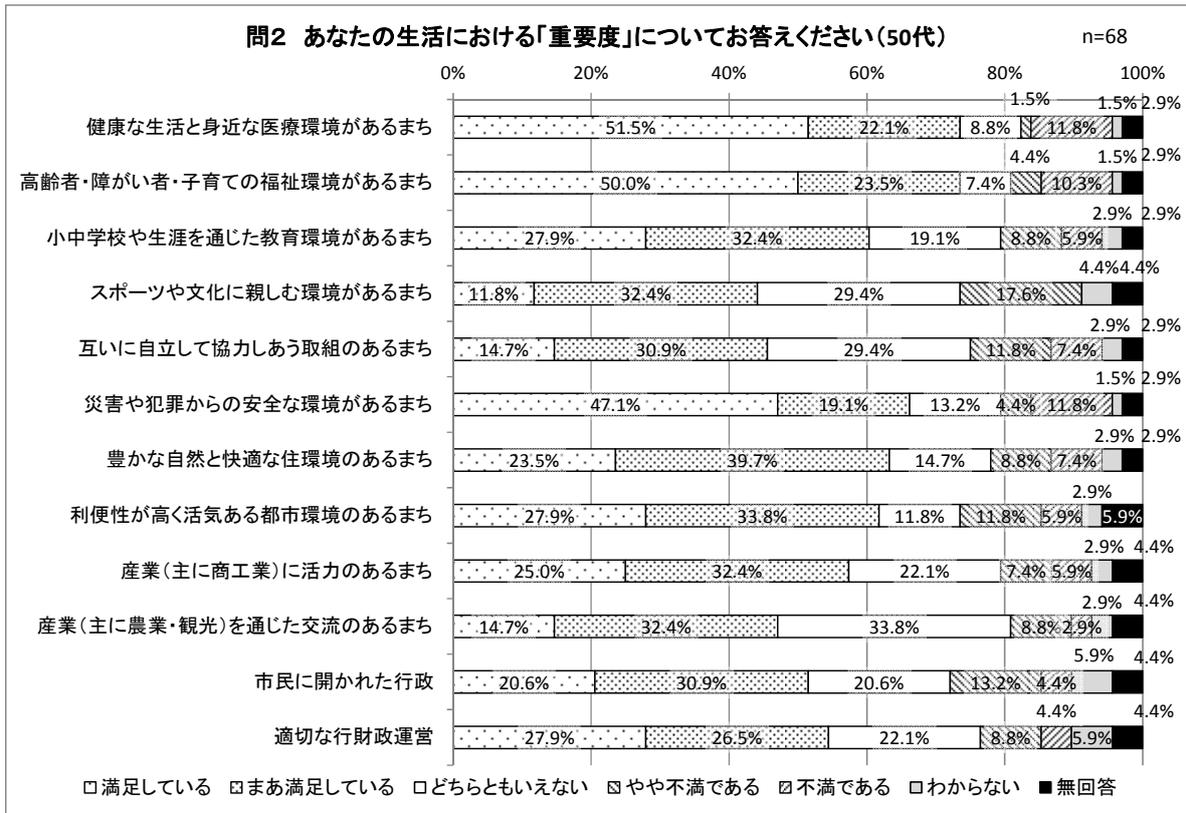
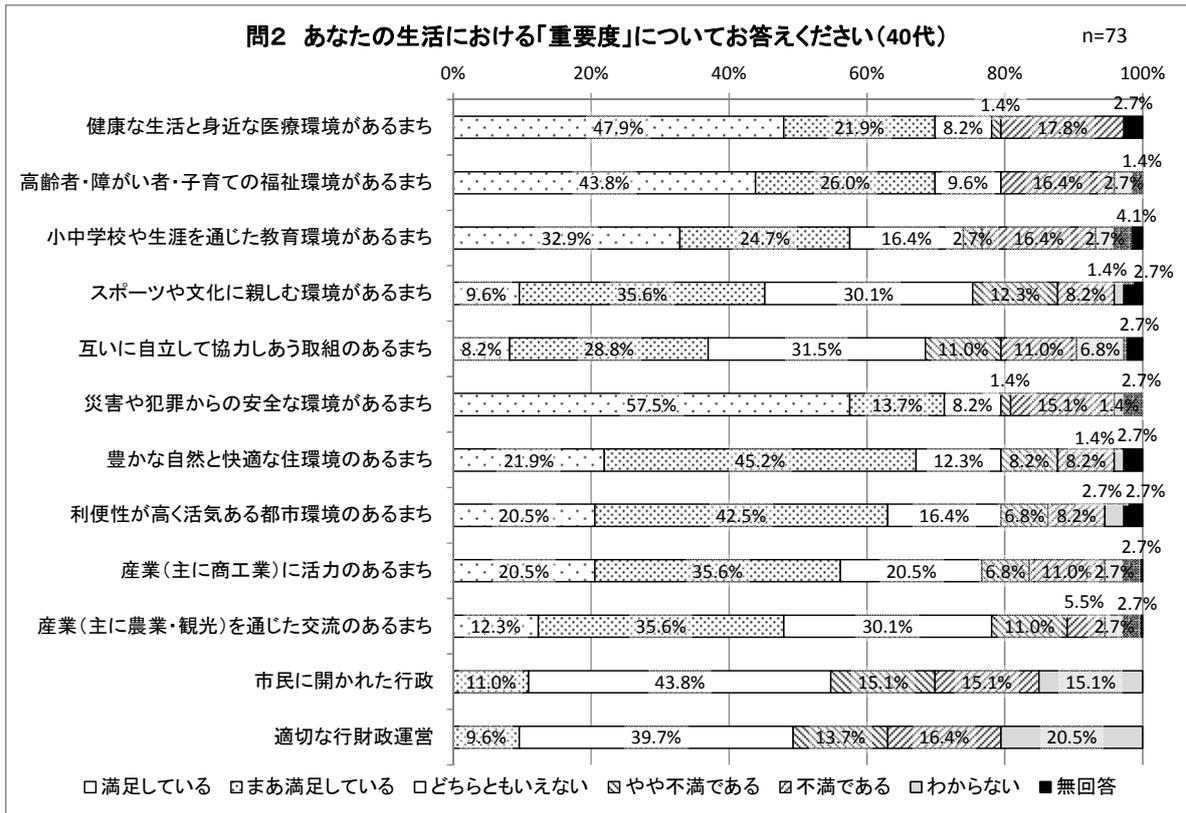


一方、同じ項目の「重要度」をみると「満足度」と比べて、総じて「重要である」「やや重要である」の割合が高くなっている。「重要である」「やや重要である」を合わせた割合が最も高いのは、「健康な生活と身近な医療環境があるまち」であり、次いで「高齢者・障がい者・子育ての福祉環境があるまち」、「災害や犯罪からの安全な環境のあるまち」となっている。一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた割合はどの項目も1割程度を占めている。

また、年代別のクロス集計は以下のとおりである。

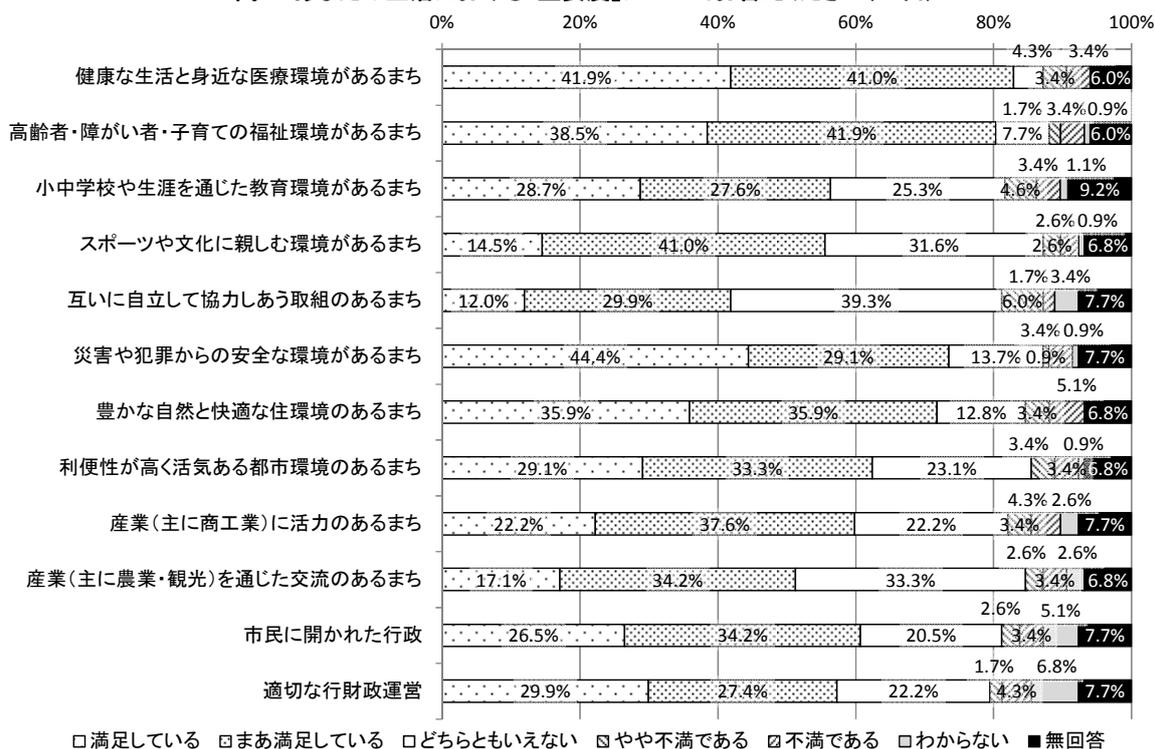






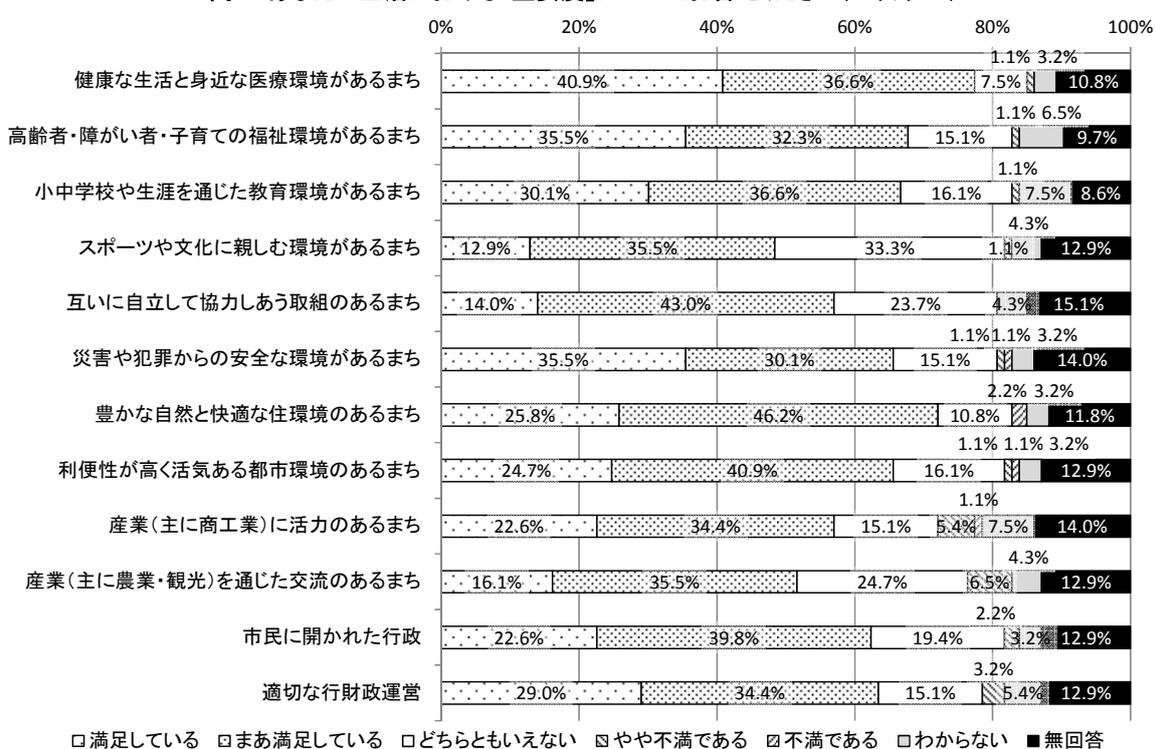
問2 あなたの生活における「重要度」についてお答えください(60代)

n=117



問2 あなたの生活における「重要度」についてお答えください(70代以上)

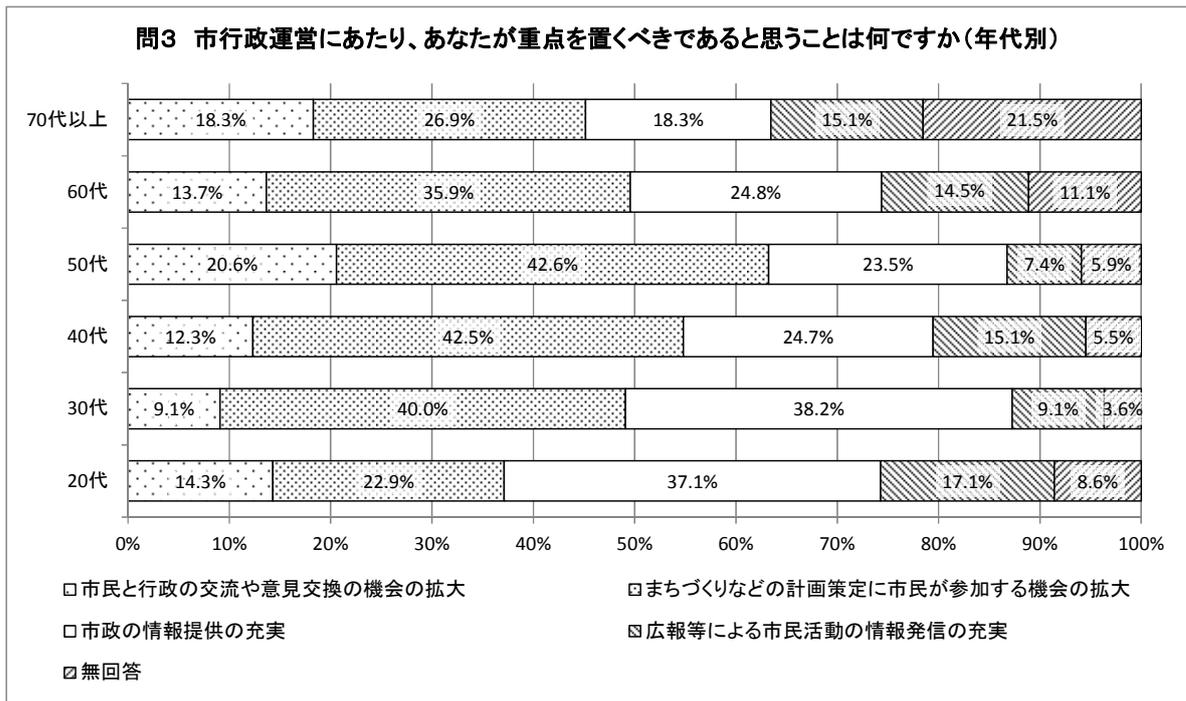
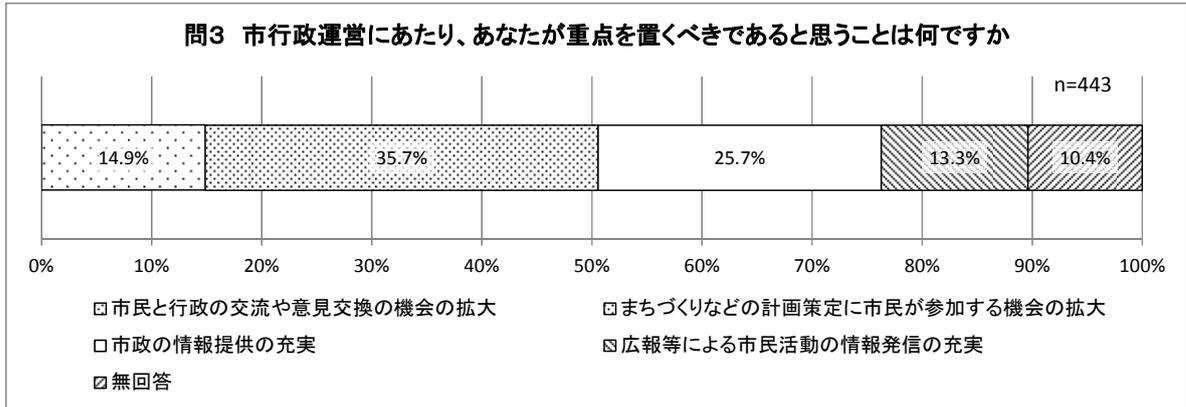
n=93



問3 市行政運営にあたり、あなたが重点を置くべきであると思うことは何ですか。

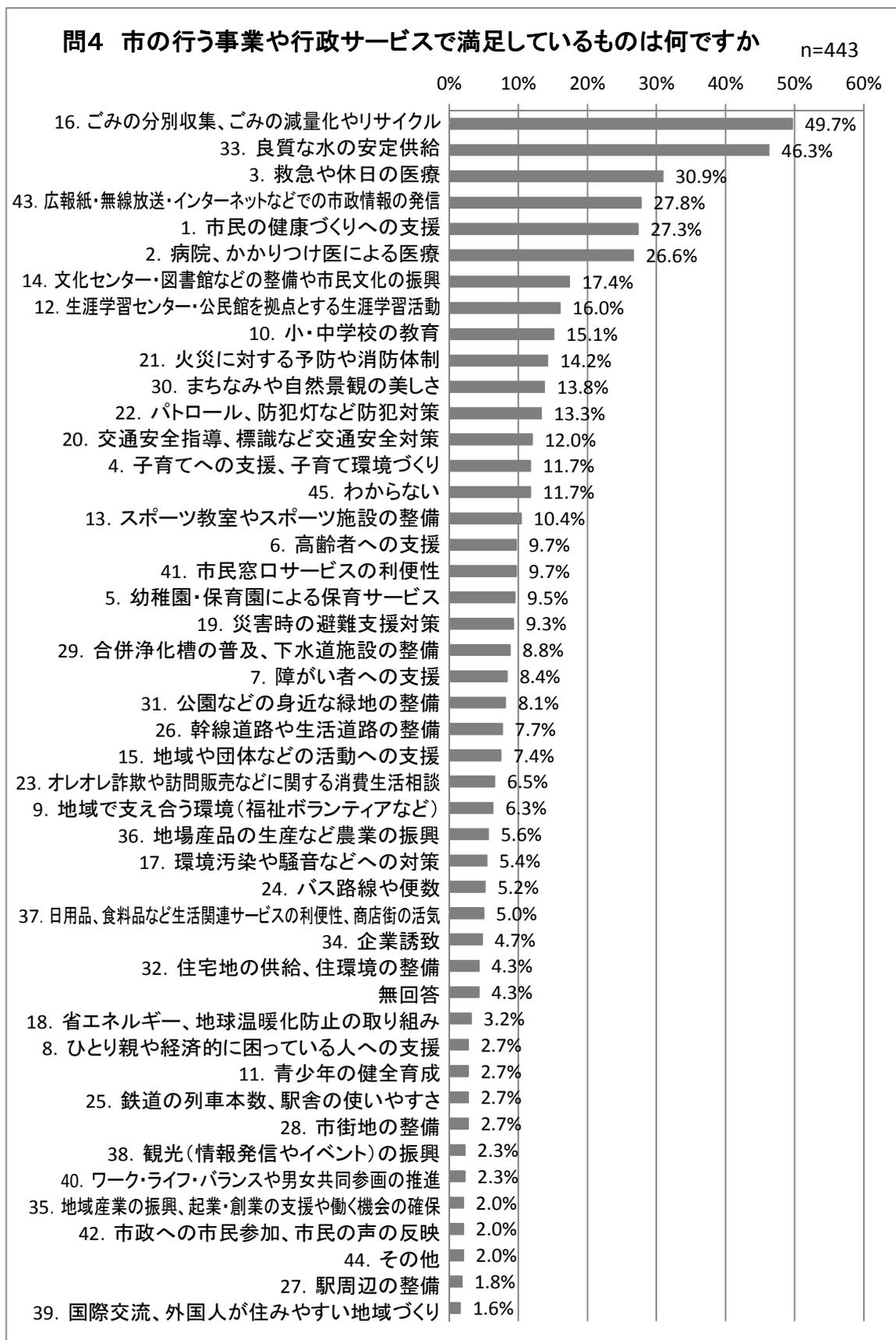
最も割合が高いのは、「まちづくりなどの計画策定に市民が参加する機会の拡大」の35.7%であり、次いで「市行政の情報提供の充実」25.7%、「市民と行政の交流や意見交換の機会の拡大」14.9%、「広報等による市民活動の情報発信の充実」13.3%となっている。

年代別にみると、30代以上の年齢では「まちづくりなどの計画策定に市民が参加する機会の拡大」が最も高い割合を示しているが、20代では、「市政の情報提供の充実」が最も高い割合を示している。



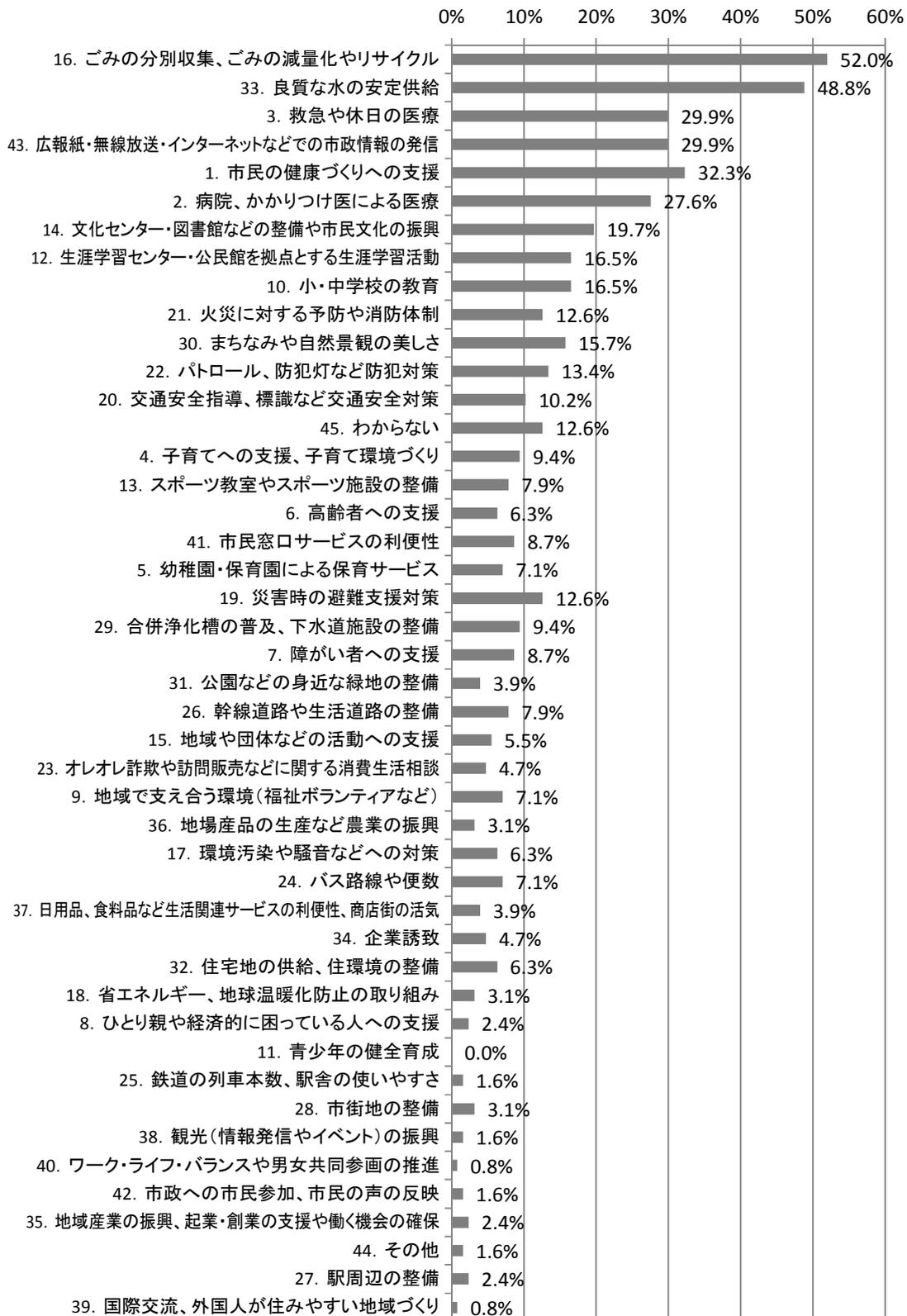
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか。

最も回答の割合が高いのは、「ごみの分別収集、ごみの減量化やリサイクル」であり、次いで「良質な水の安定供給」、「救急や休日の医療」、「広報紙・無線放送・インターネットなどでの市政情報の発信」となっている。



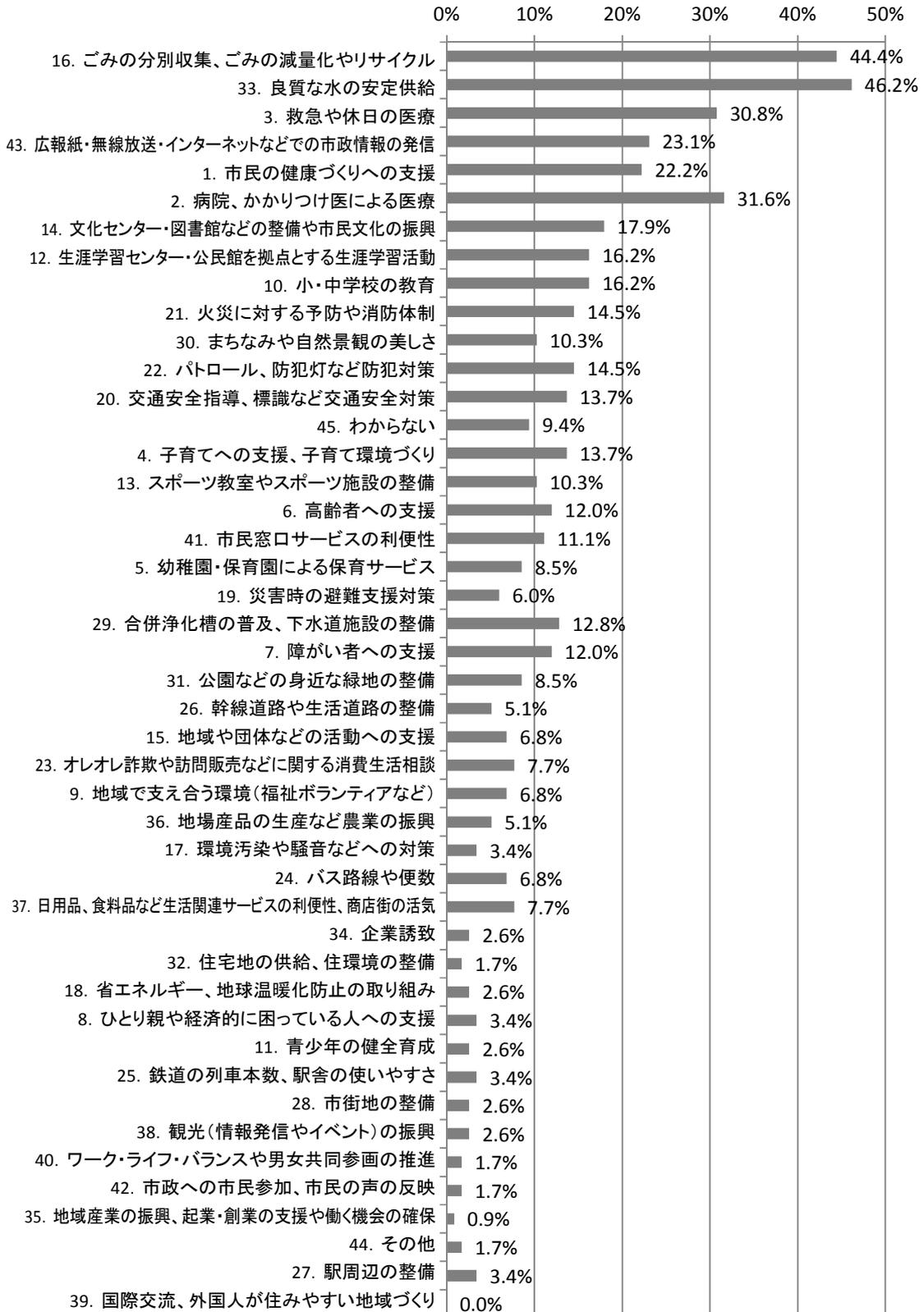
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住地区別:東地区)

n=127



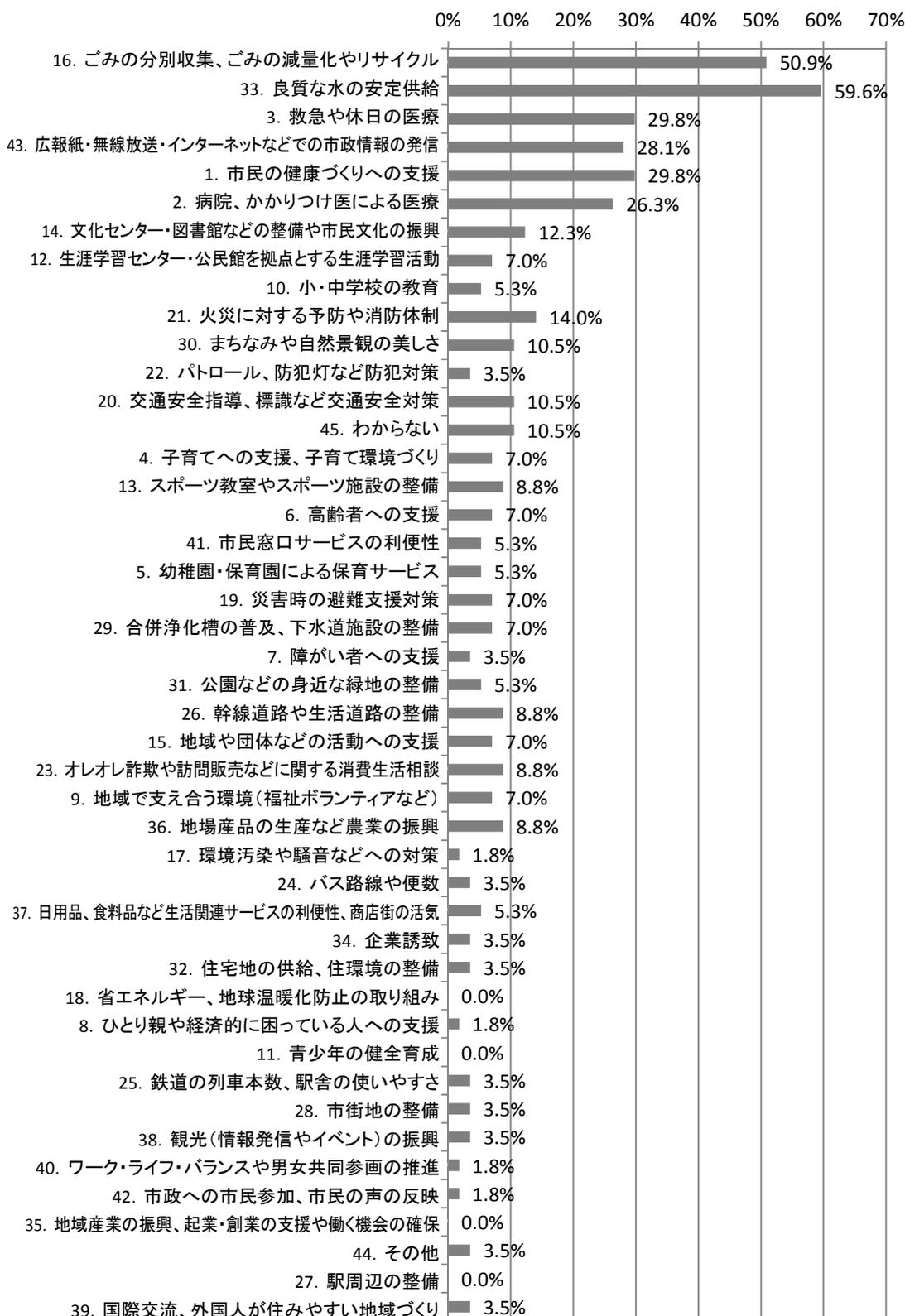
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住地区別:西地区)

n=117



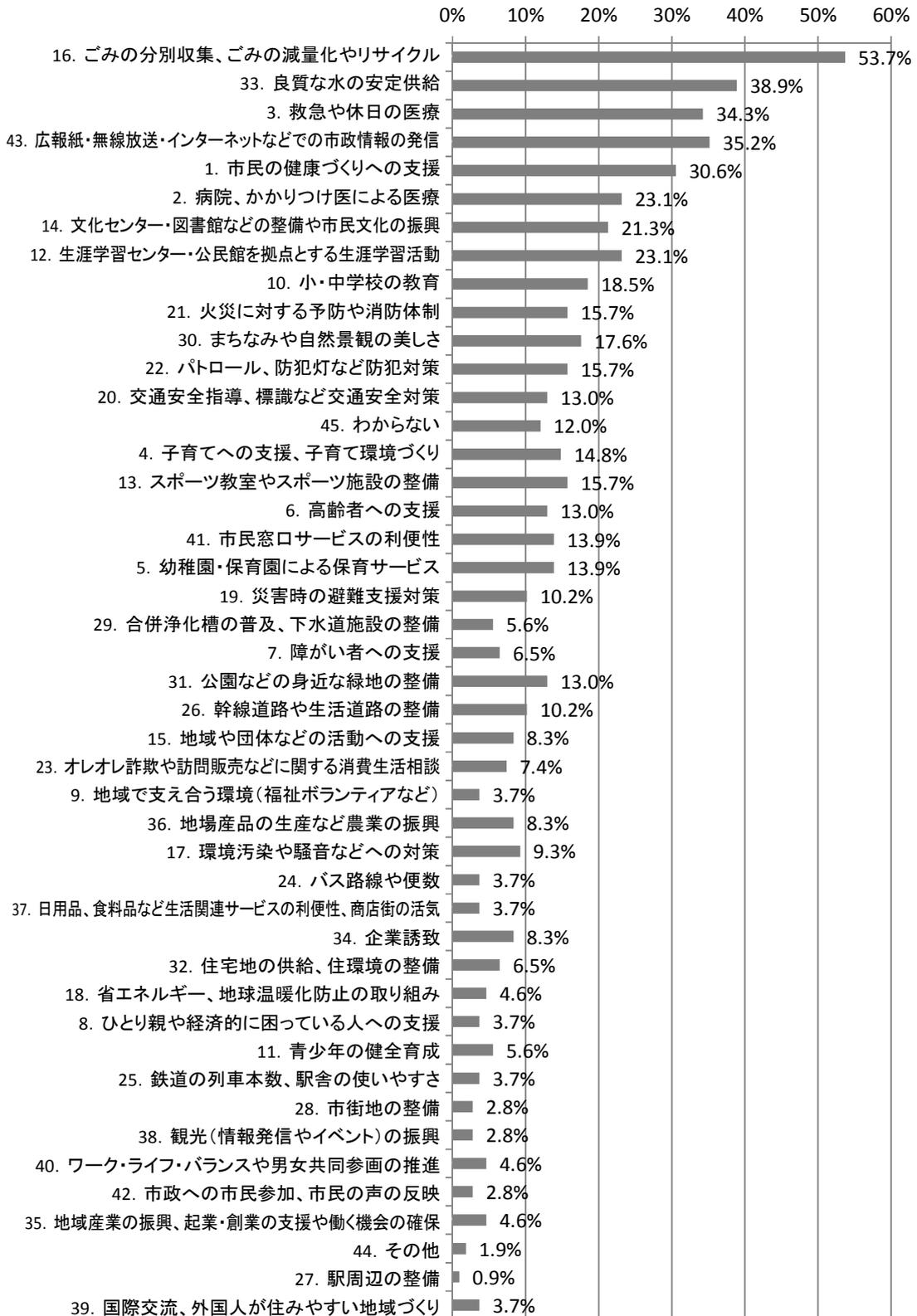
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住地区別:深良地区)

n=57



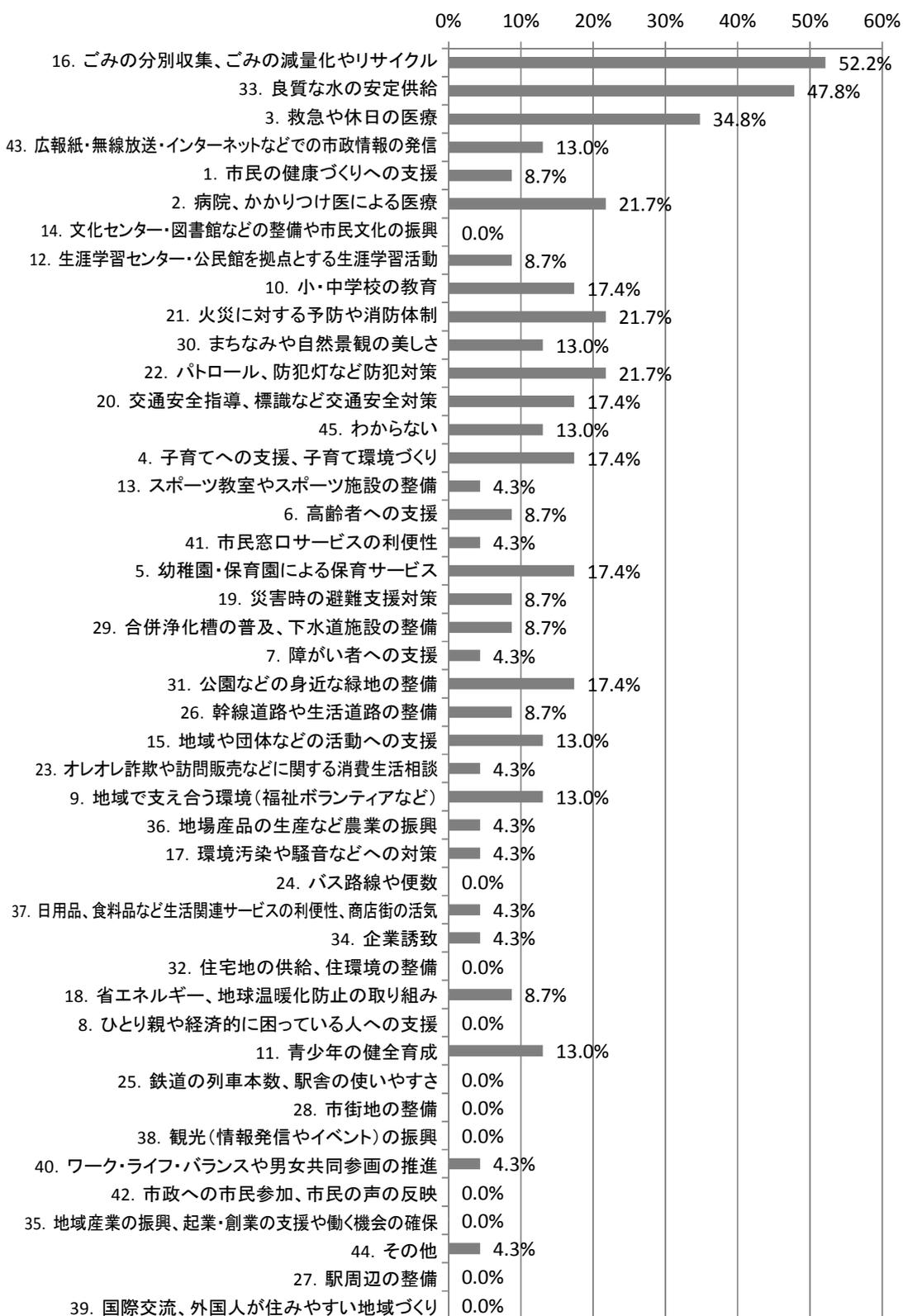
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住地区別: 富岡地区)

n=108



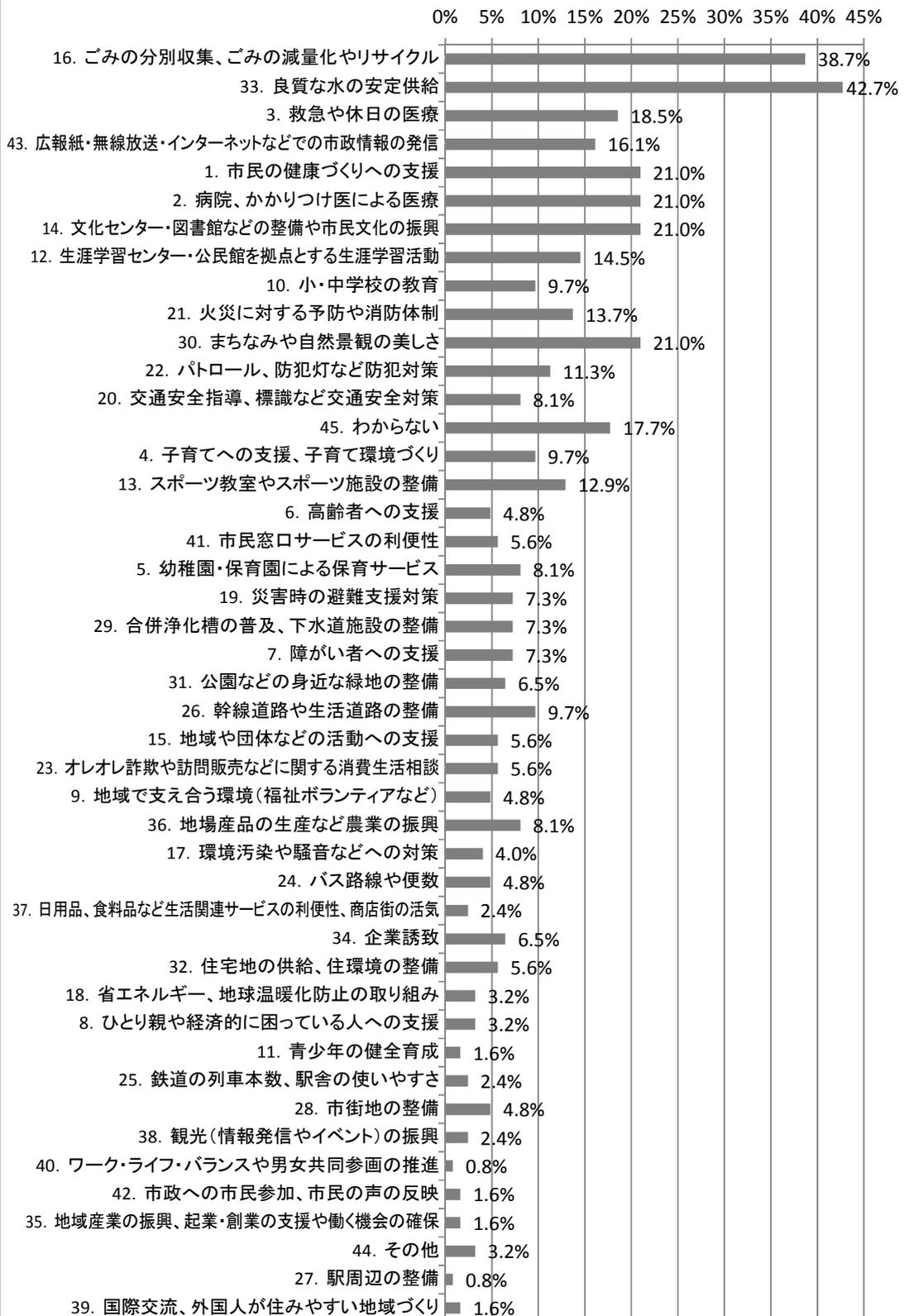
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住地区別：須山地区)

n=23

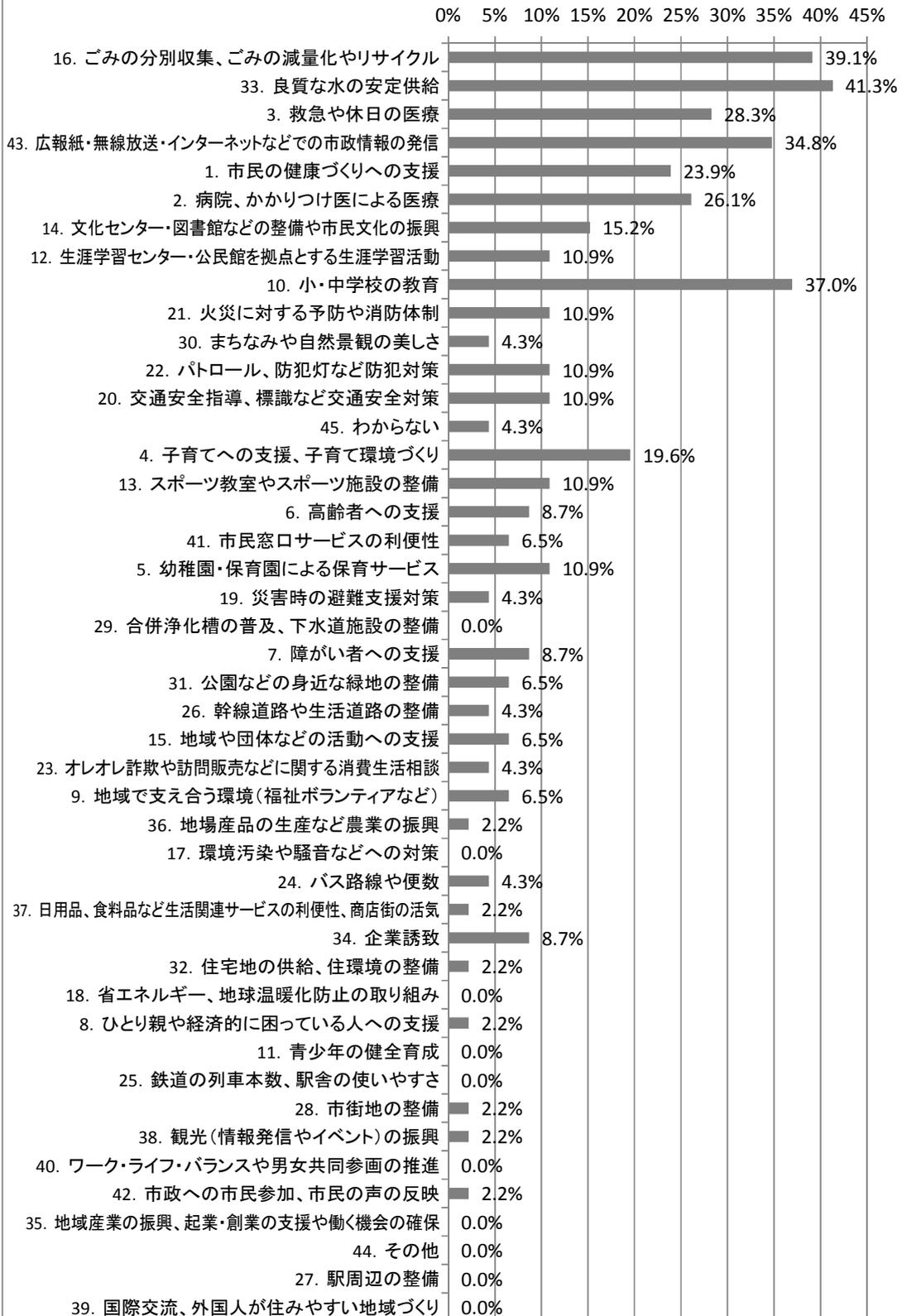


問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(家族形成期別:就学前家族)

n=124



問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか n=46  
(家族形成期別:就学中家族)

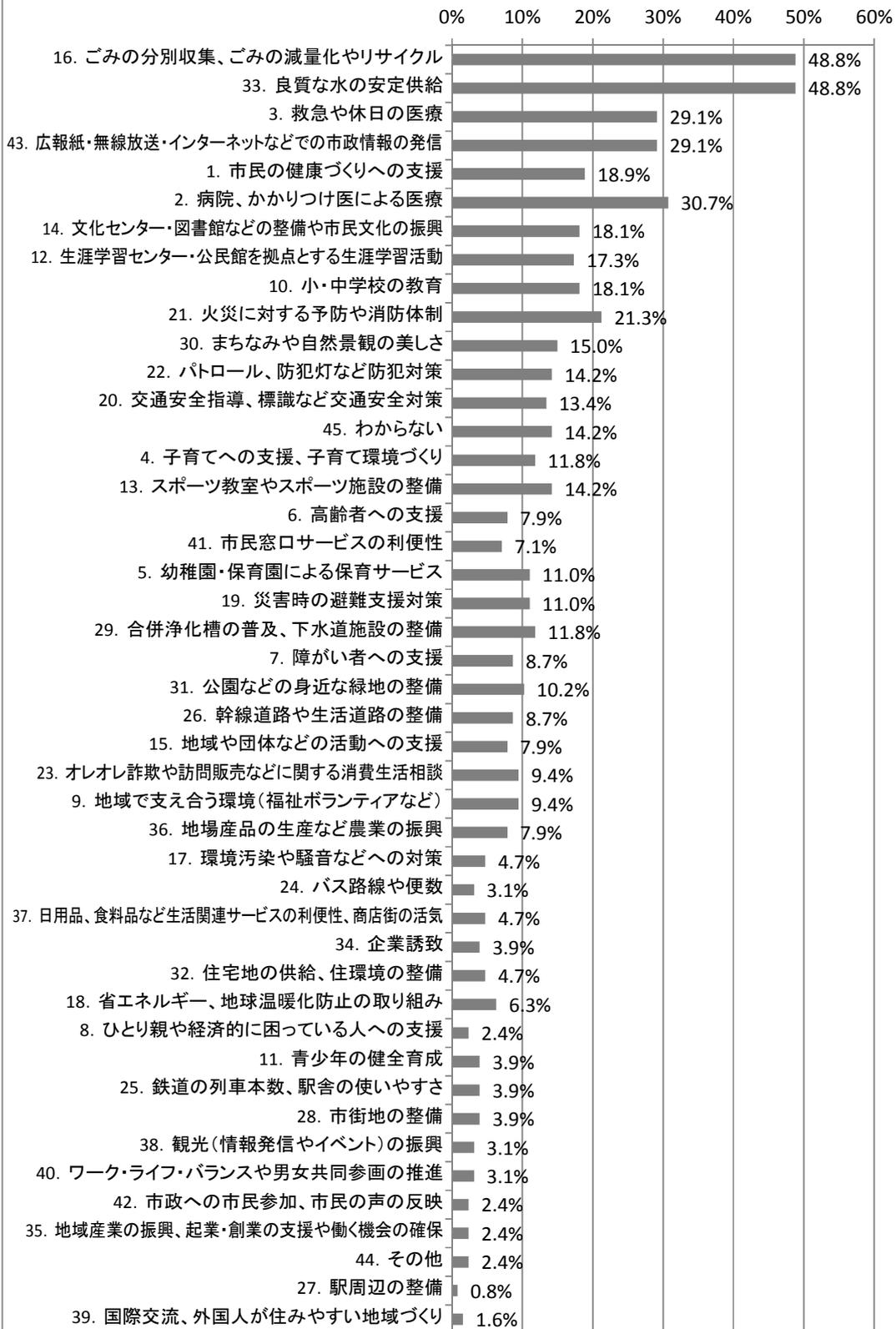


問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(家族形成期別:就学後家族)

n=226



問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか n=127  
 (居住歴別:生まれてからずっと住んでいる)



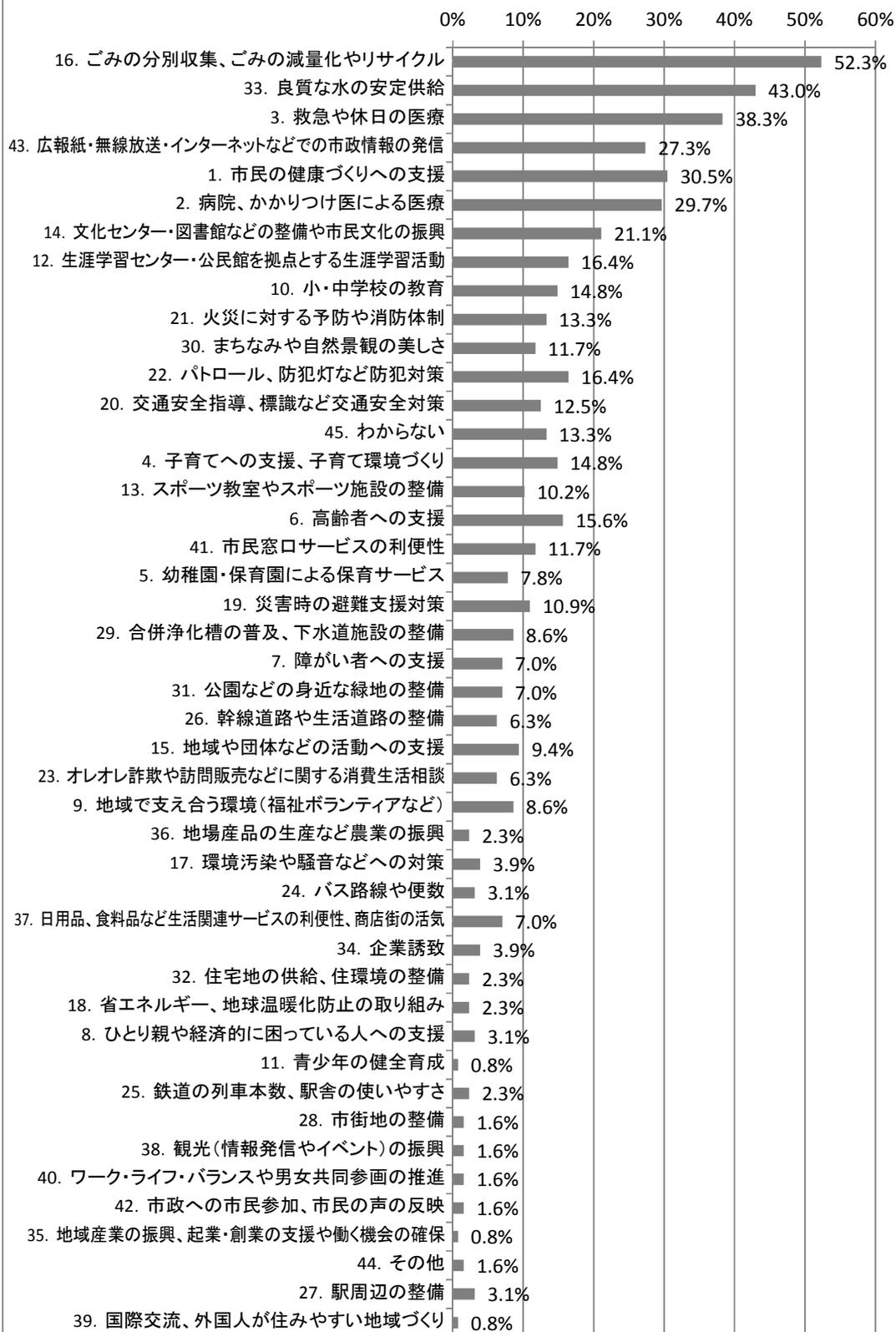
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
 (居住歴別:生まれたのは市内だが、一時転出したことがある)

n=68



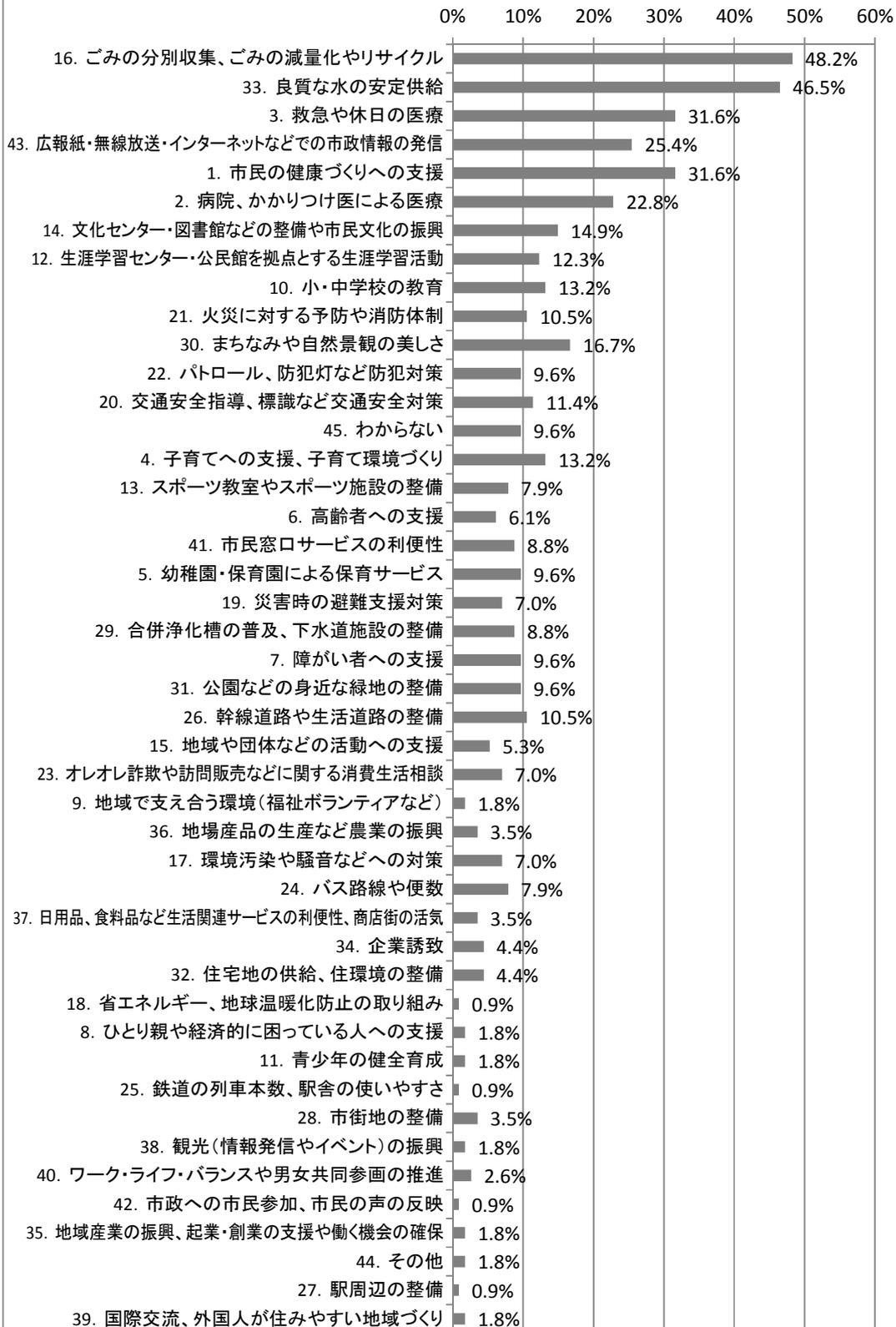
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住歴別：県内の他市町から転入してきた)

n=128



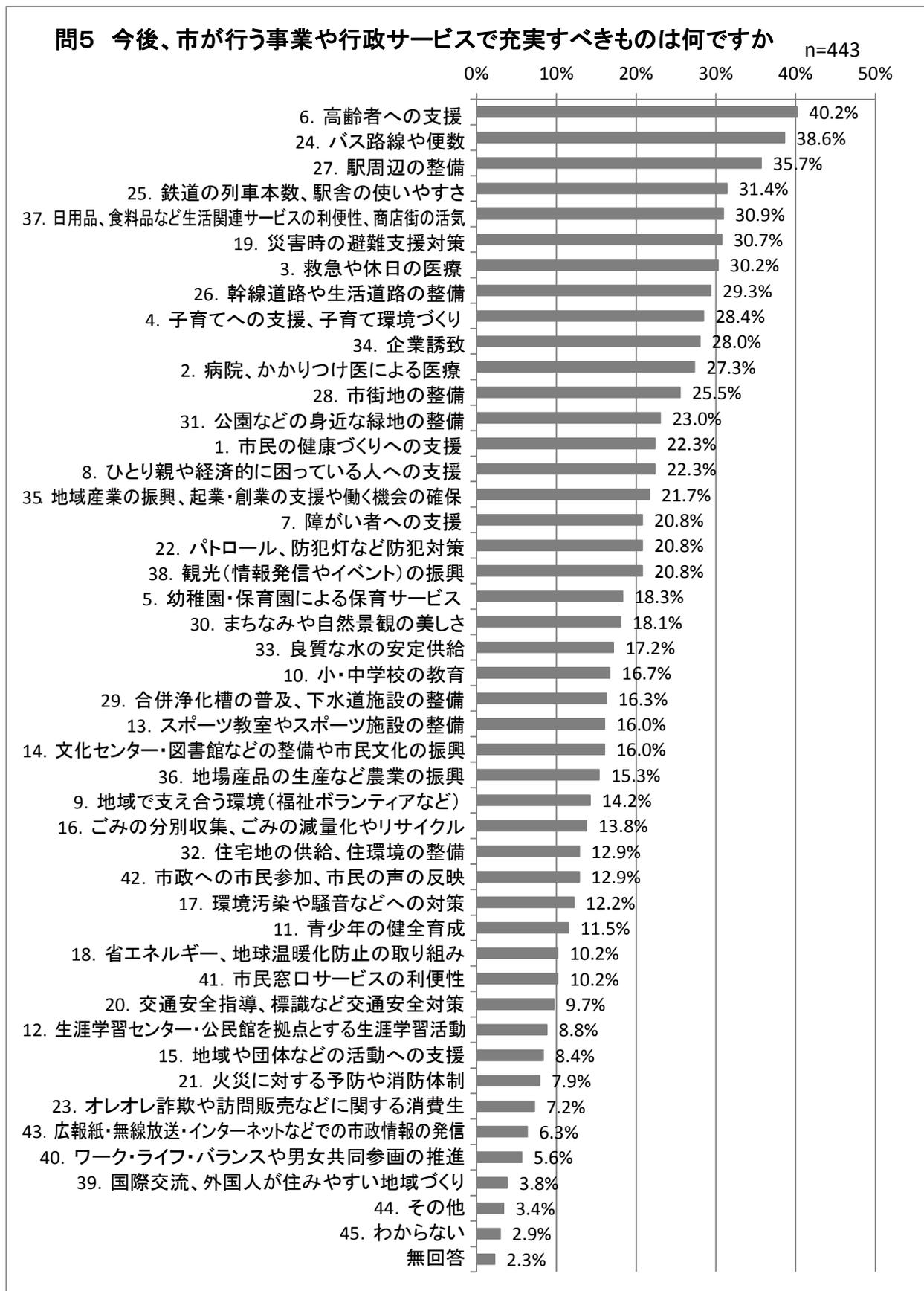
問4 市の行う事業や行政サービスで満足しているものは何ですか  
(居住歴別: 県外から転入してきた)

n=114



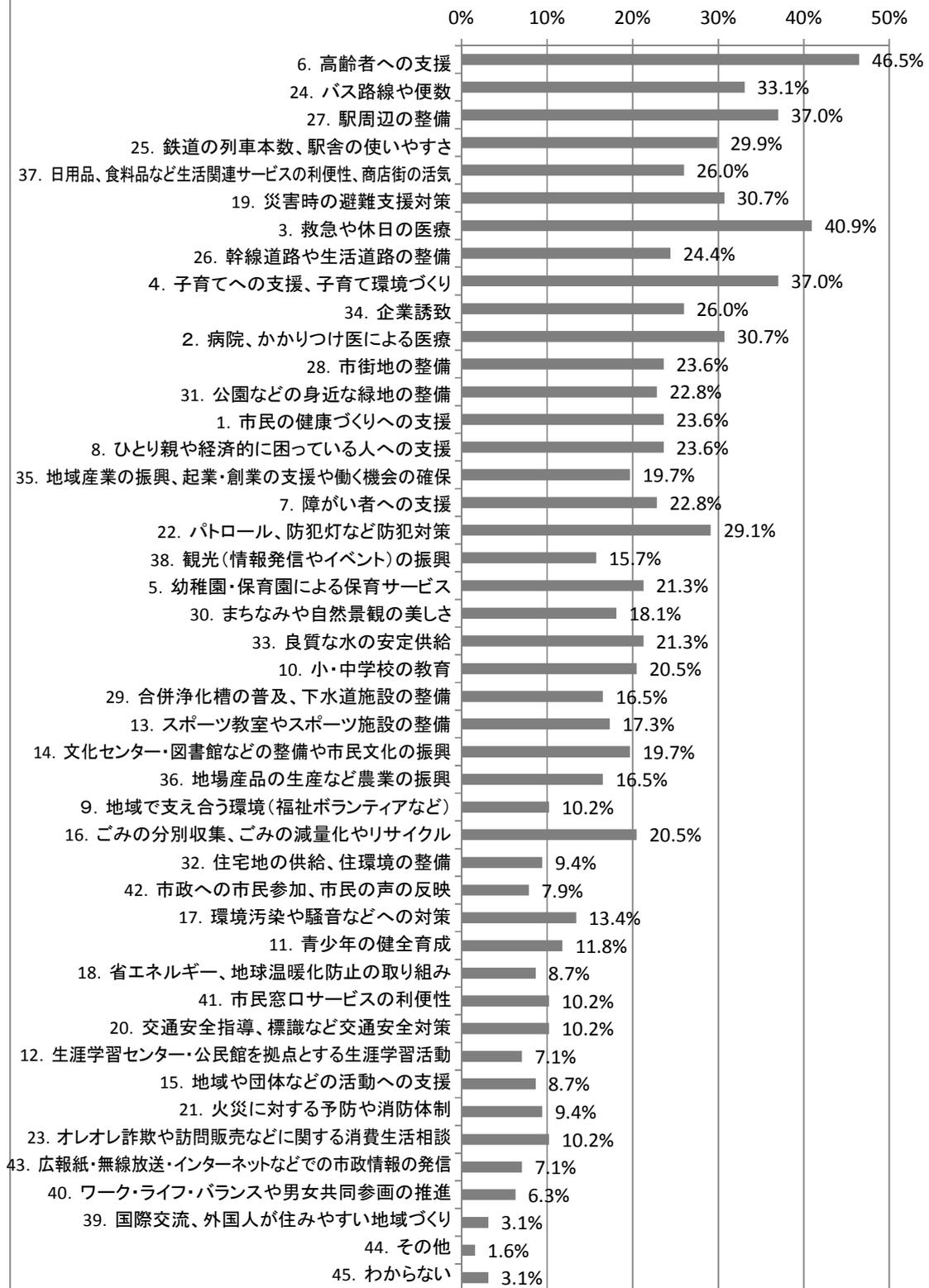
問5 今後、市が行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか。

最も回答の割合が高いのは、「高齢者への支援」であり、次いで「バス路線や便数」、「駅周辺の整備」、「鉄道の列車本数、駅舎の使いやすさ」、「日用品、食料品など生活関連サービスの利便性、商店街の活気」となっている。



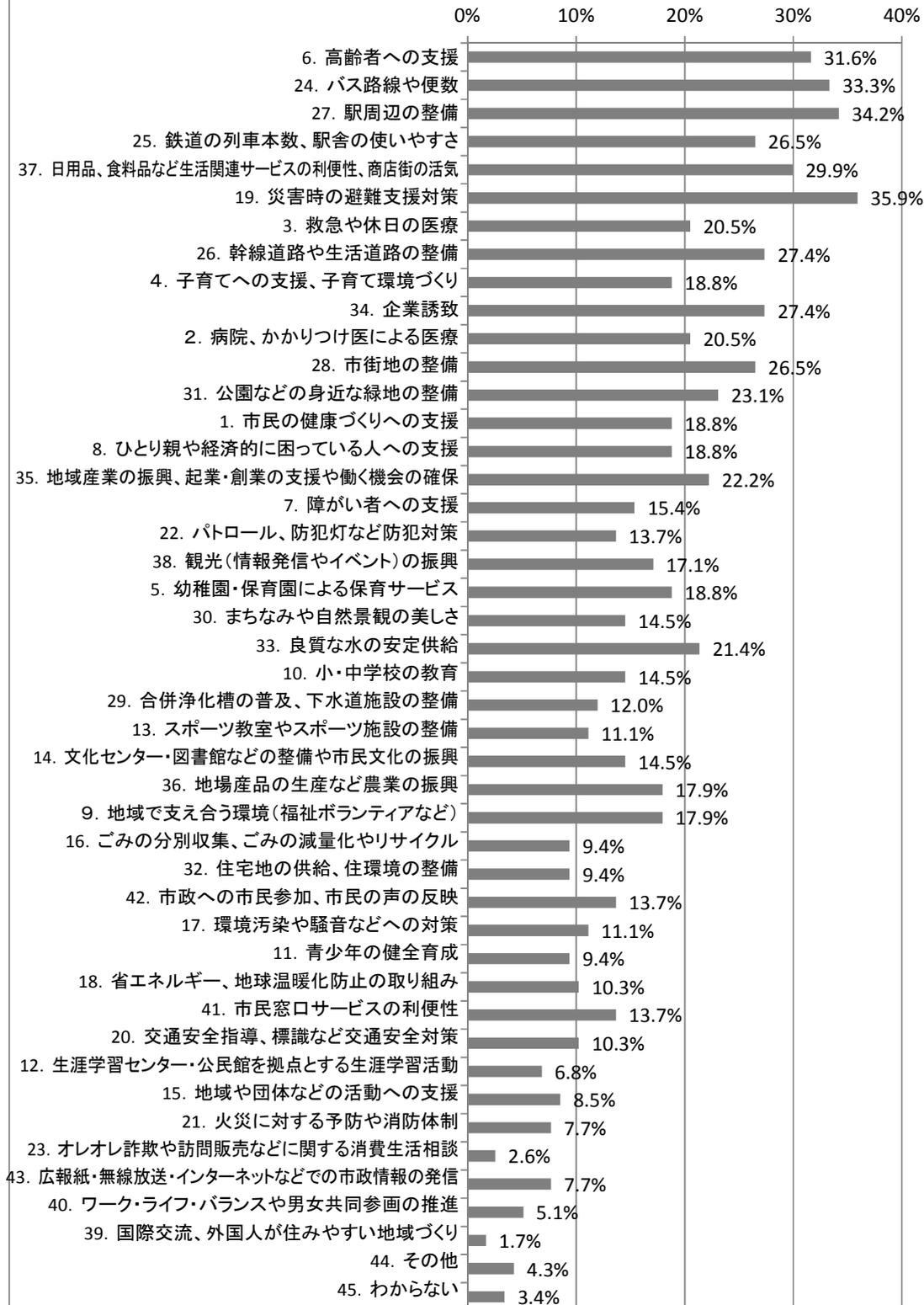
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住地区別:東地区)

n=127



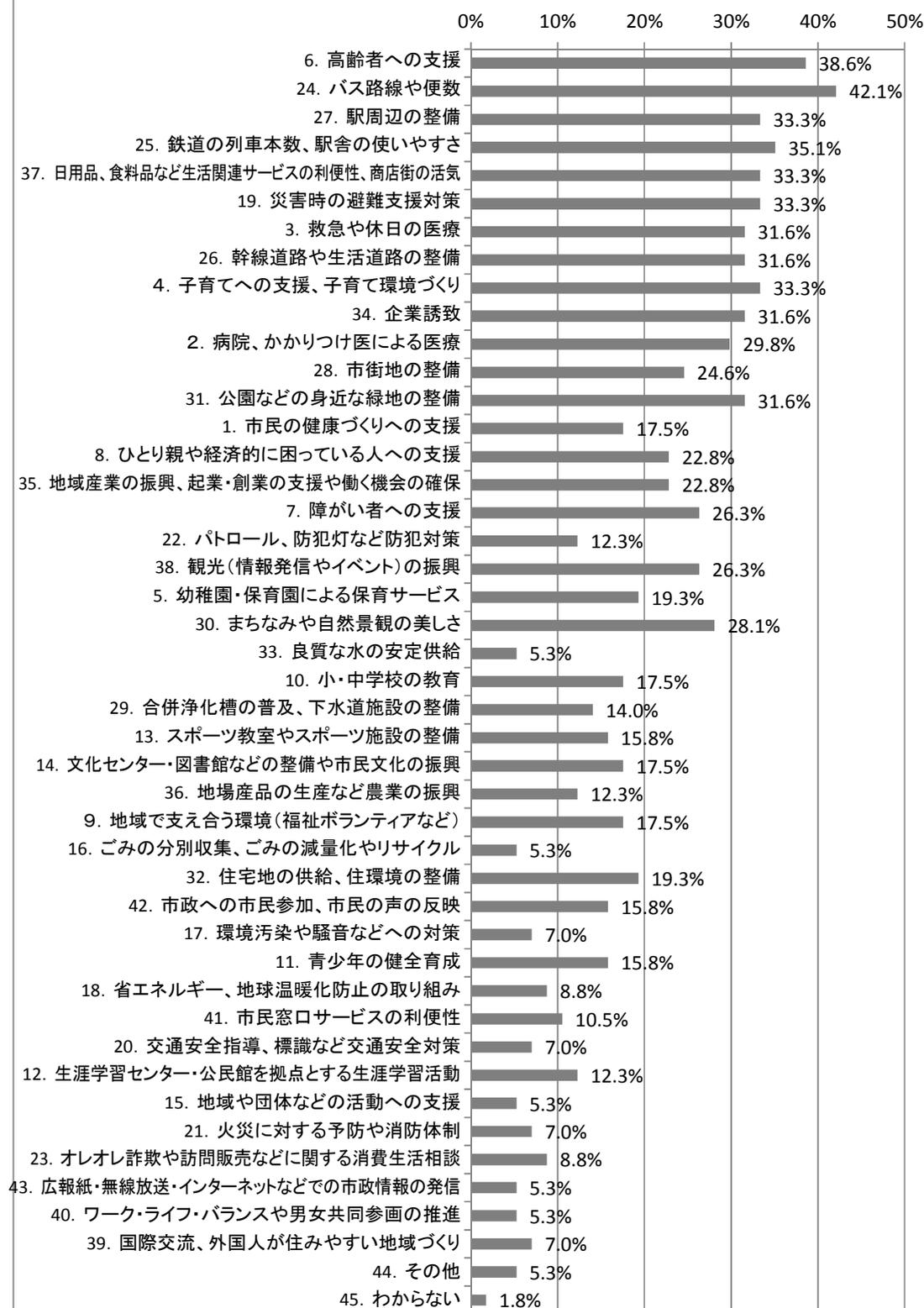
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住地区別:西地区)

n=117



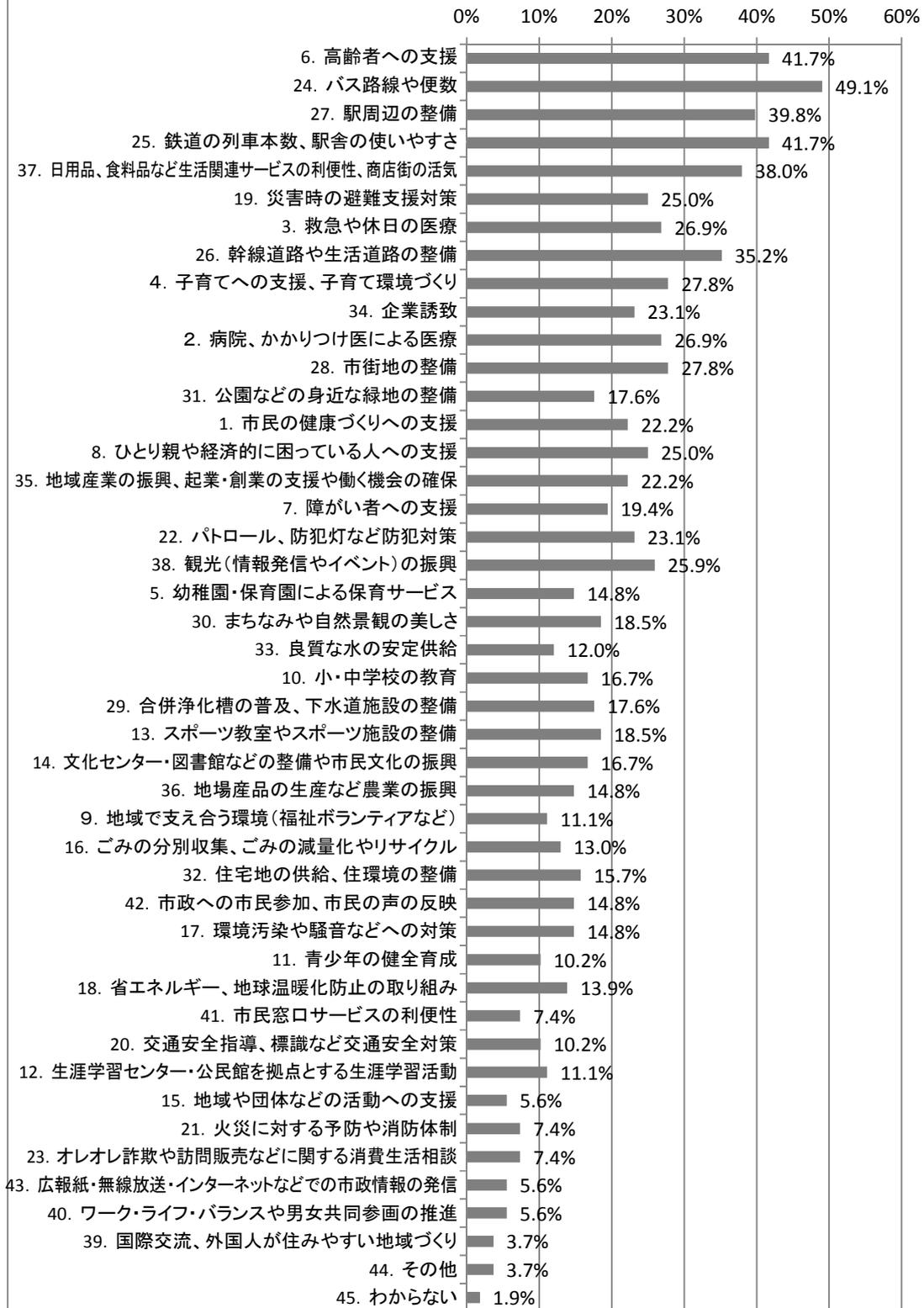
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住地区別:深良地区)

n=57



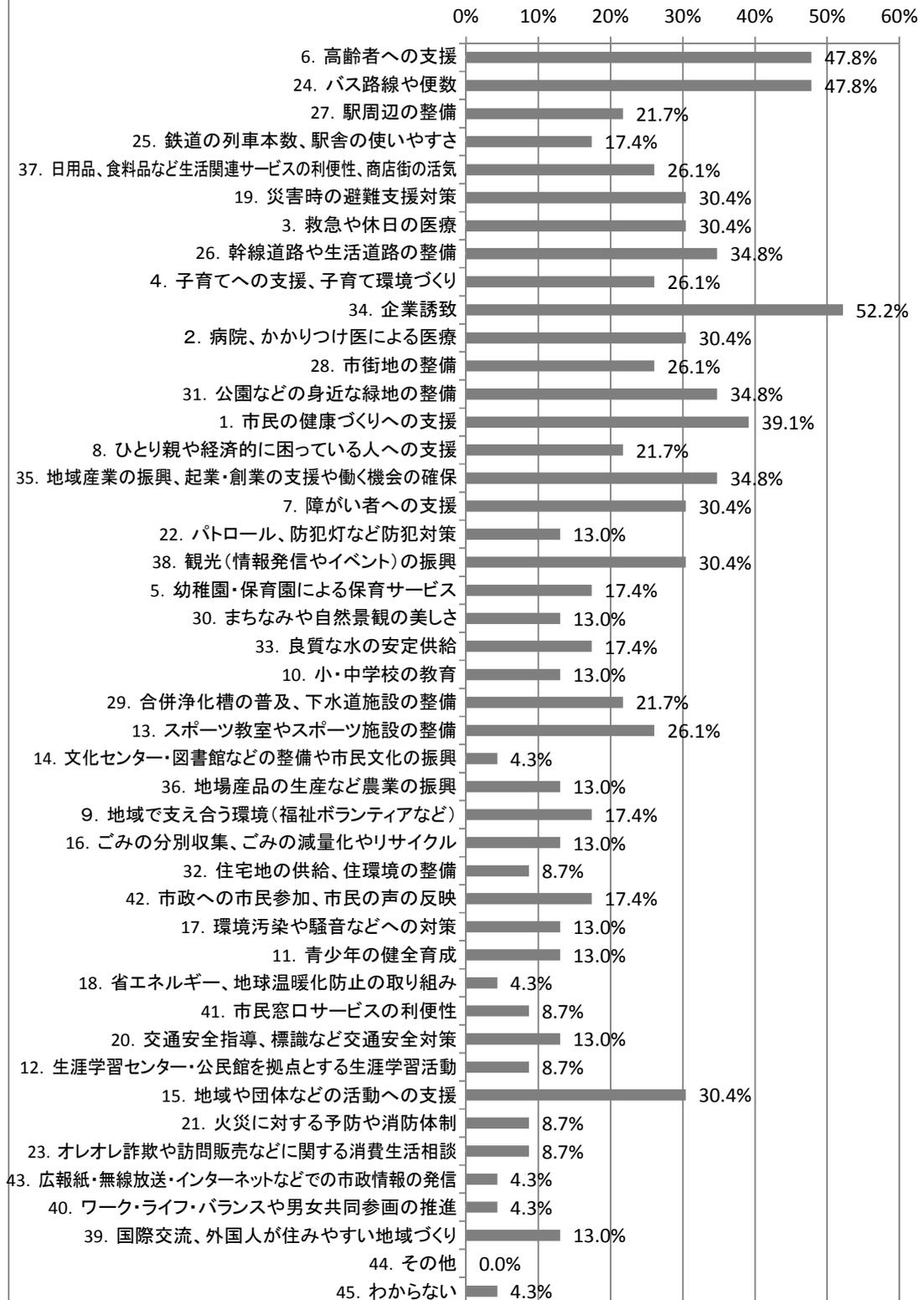
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住地別:富岡地区)

n=108



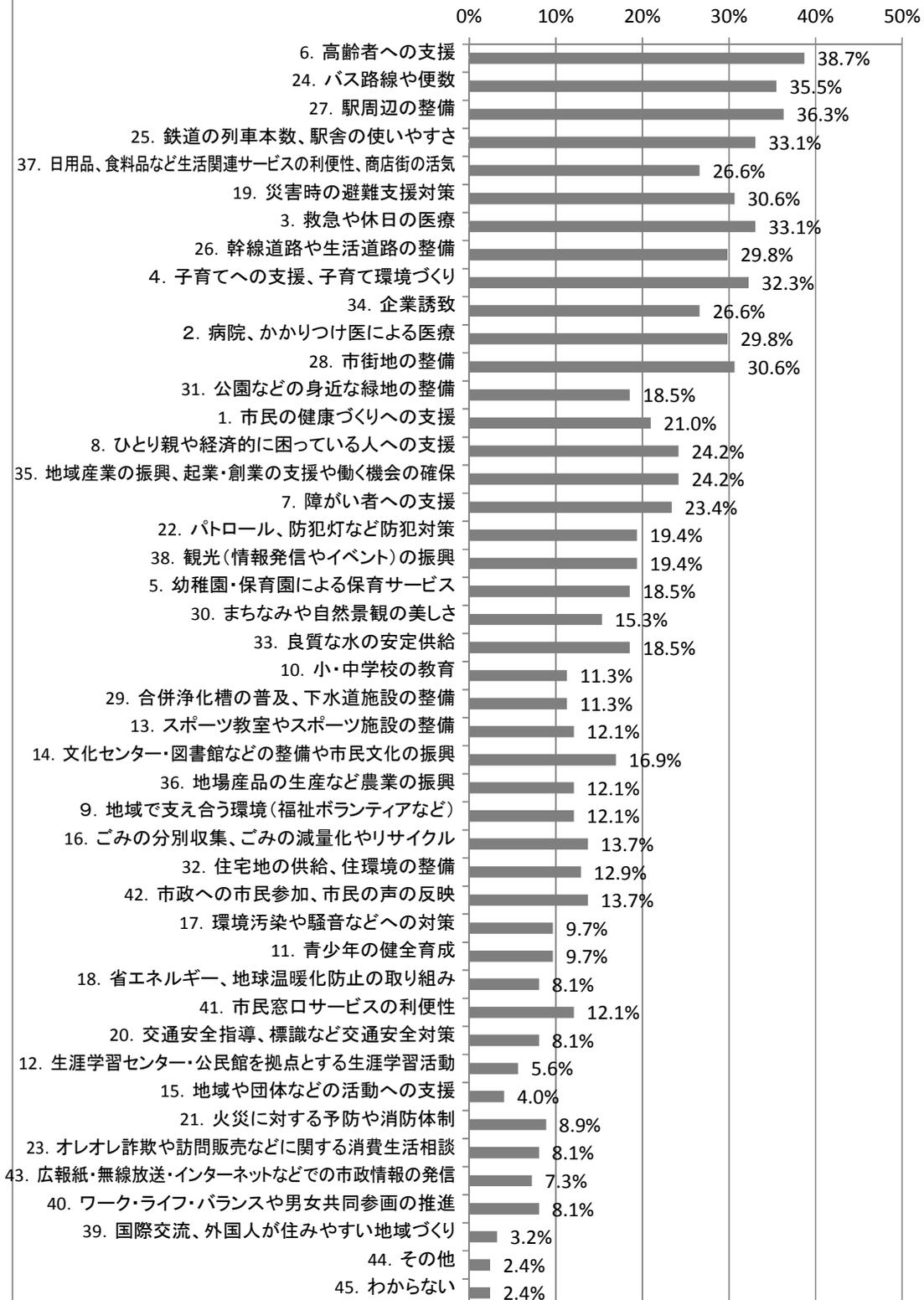
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住地区別:須山地区)

n=23



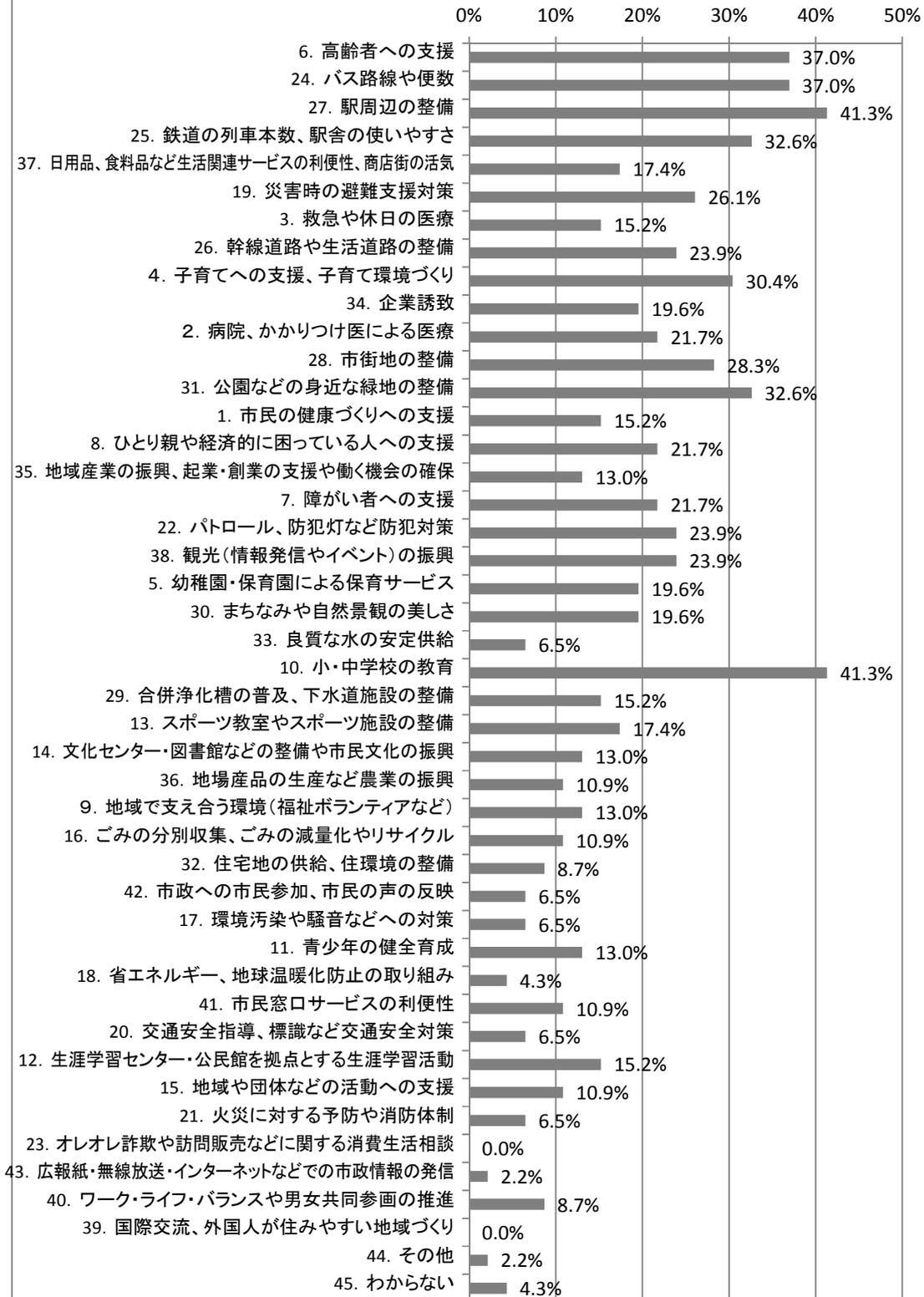
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(家族形成期別:就学前家族)

n=124



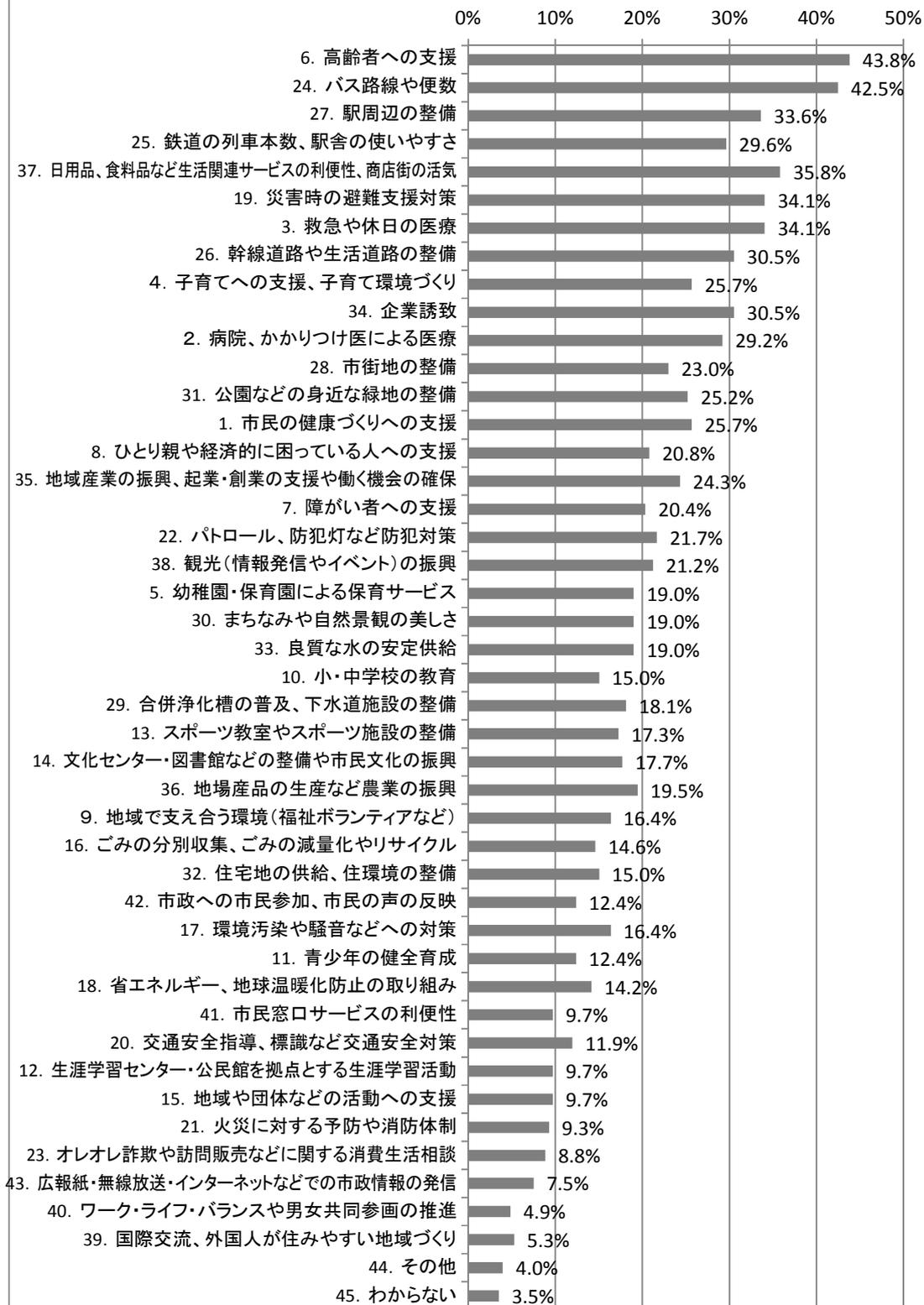
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(家族形成期別:就学中家族)

n=46



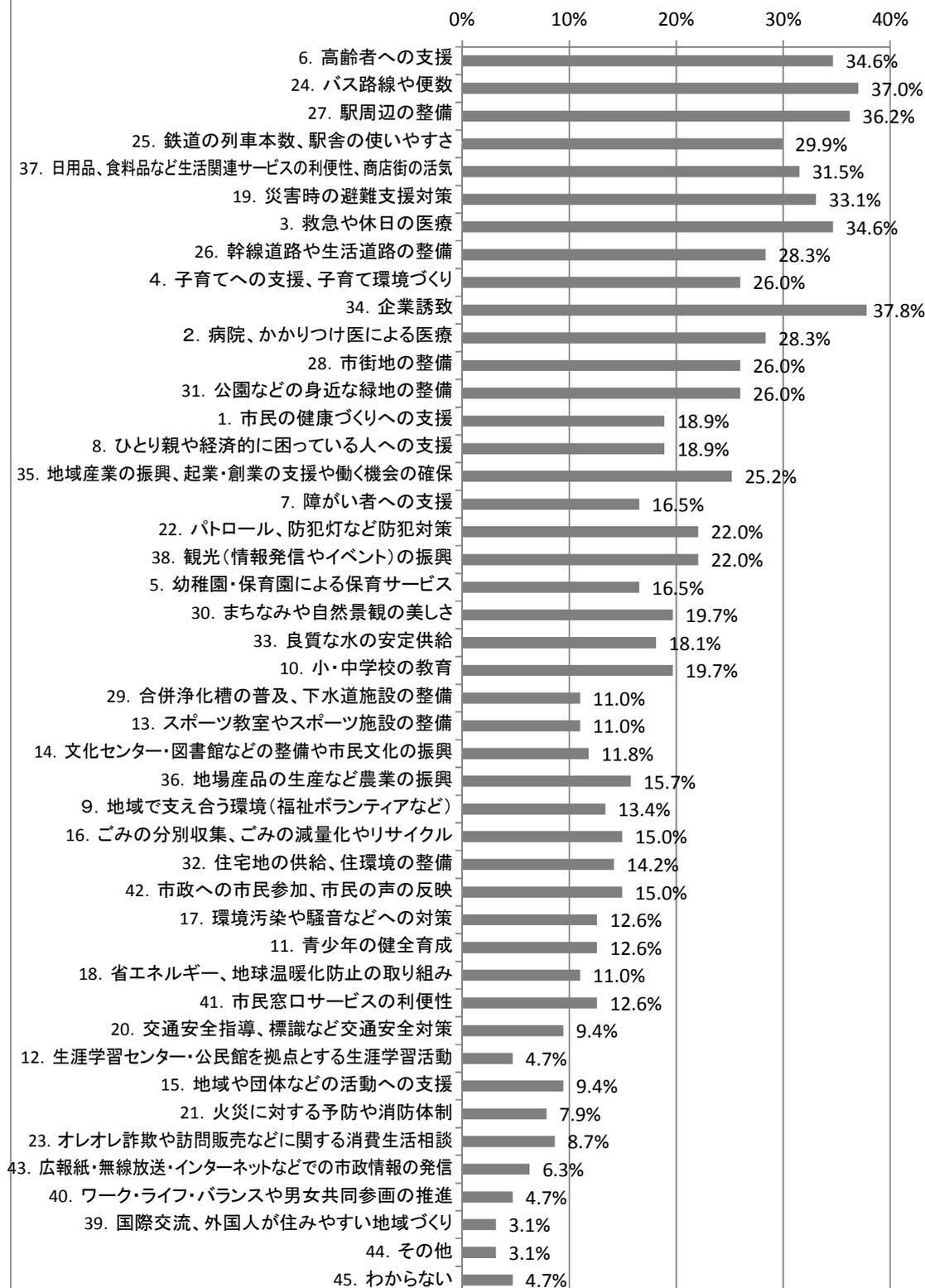
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(家族形成期別:就学後家族)

n=226



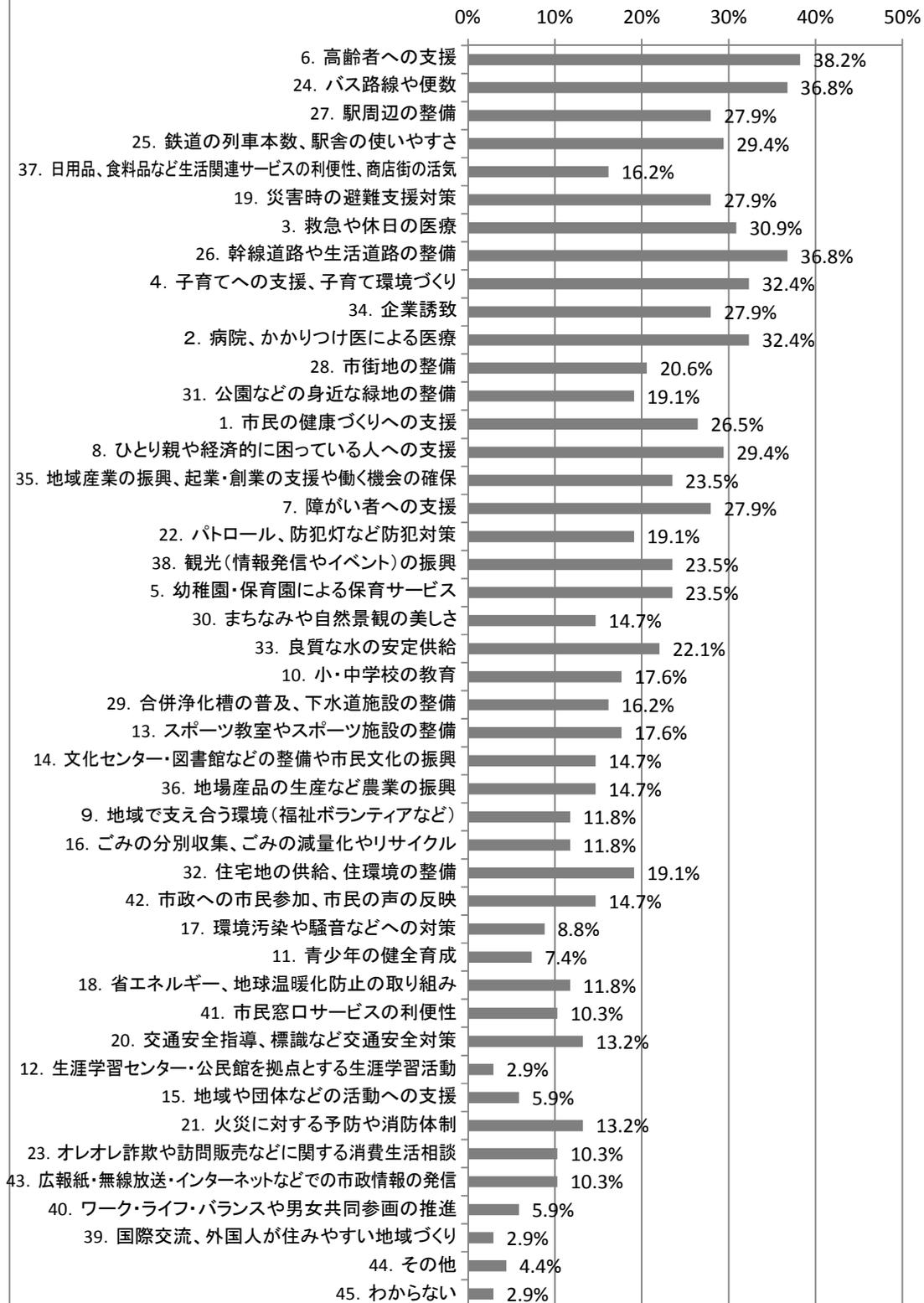
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住歴別:生まれてからずっと住んでいる)

n=127



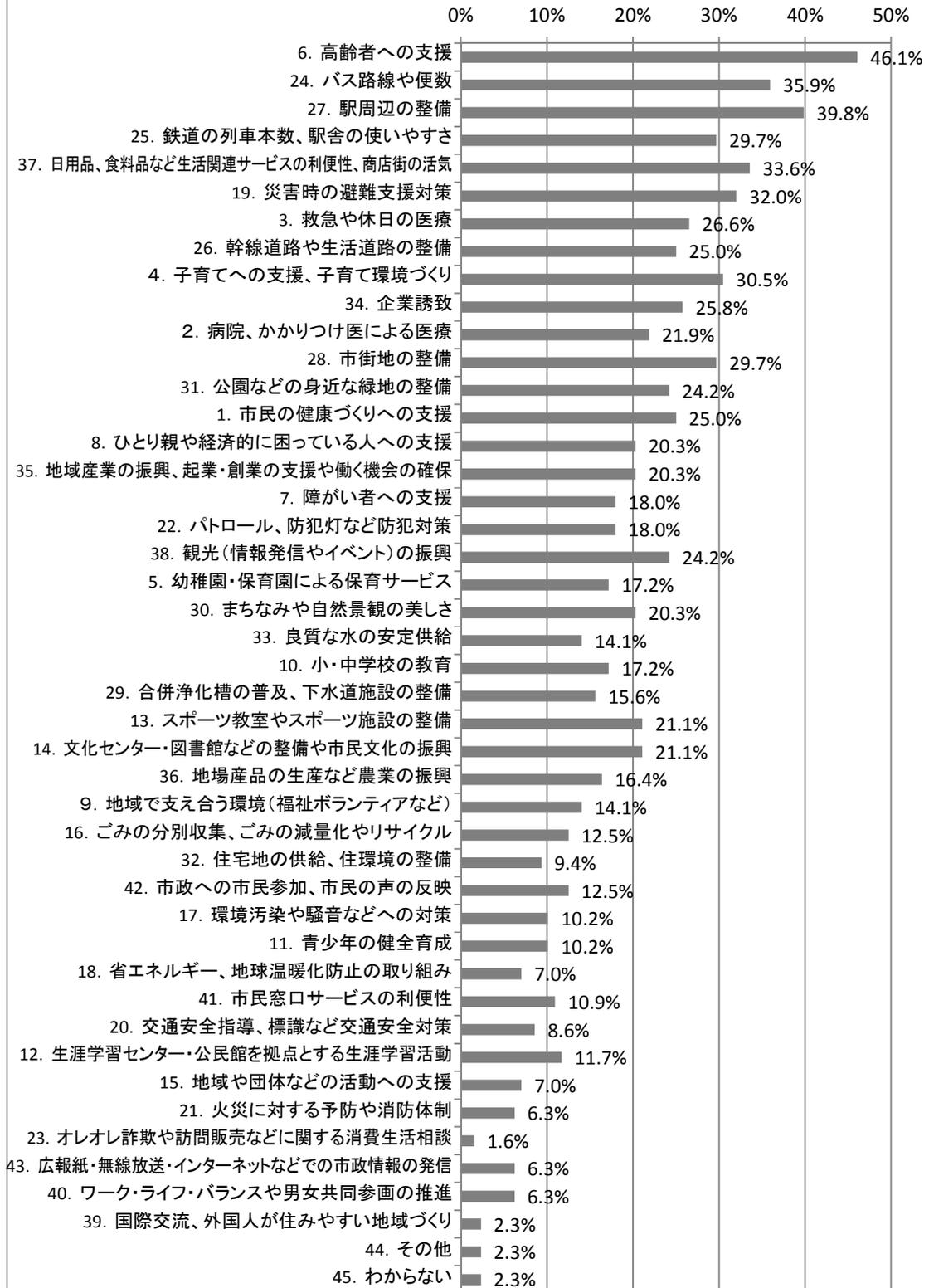
問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住歴別:生まれたのは市内だが、一時転出したことがある)

n=68



問5 今後、市の行う事業や行政サービスで充実すべきものは何ですか(居住歴別:県内の他市町から転入してきた)

n=128



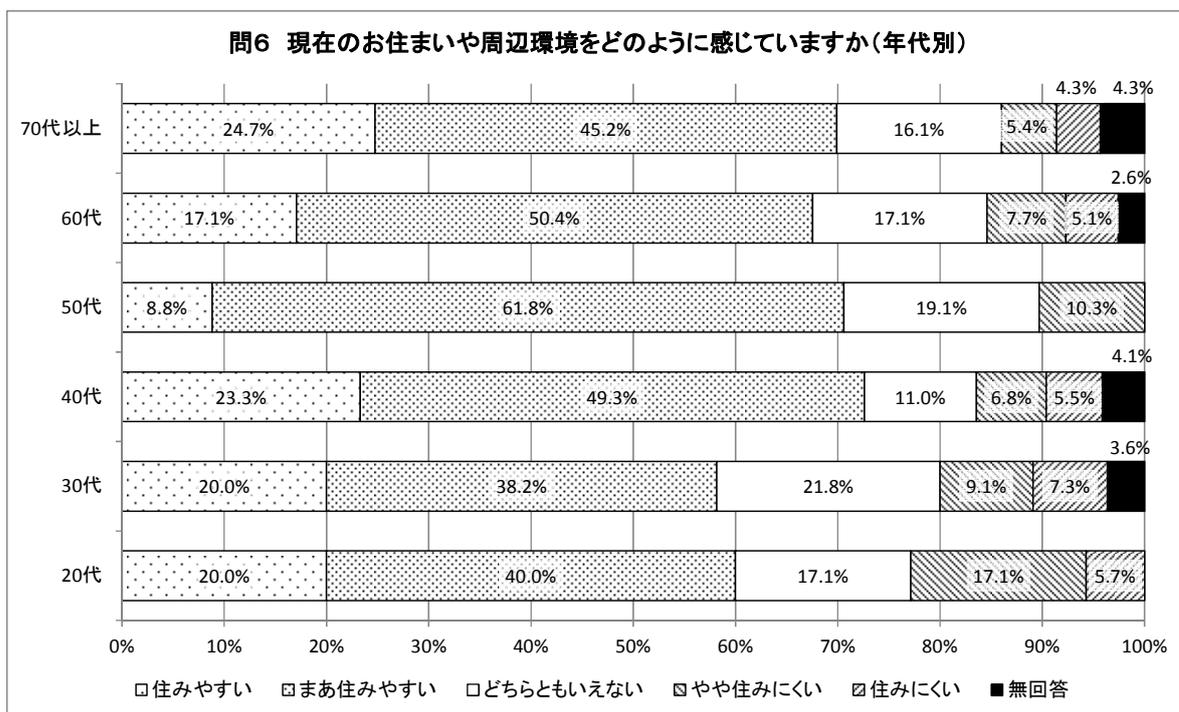
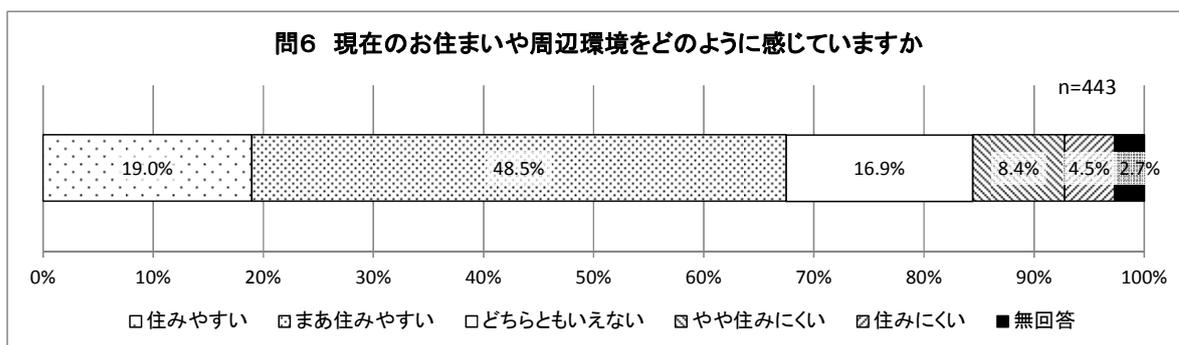
問6 現在のお住まいや周辺環境をどのように感じていますか。

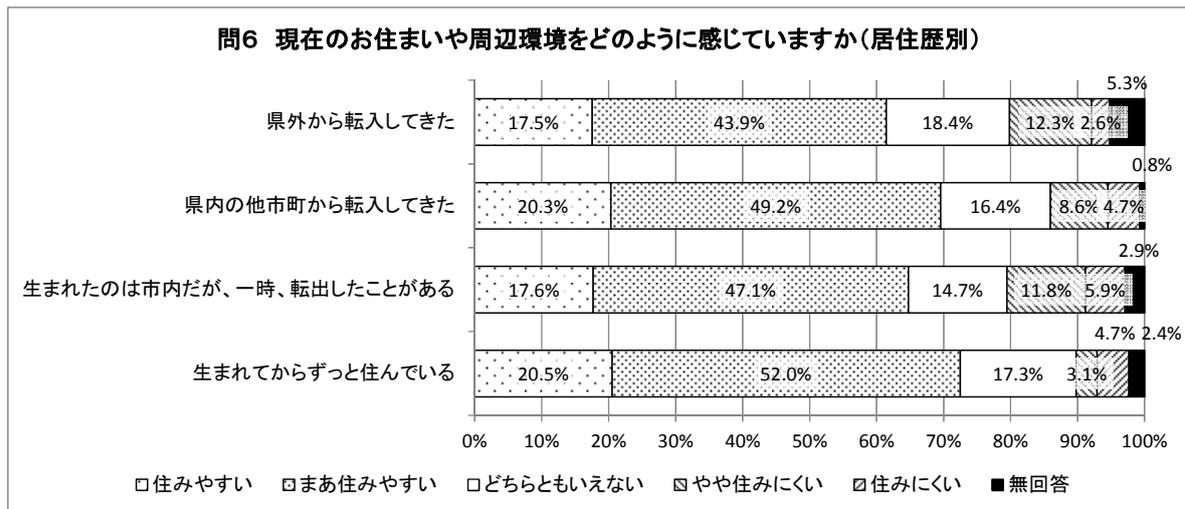
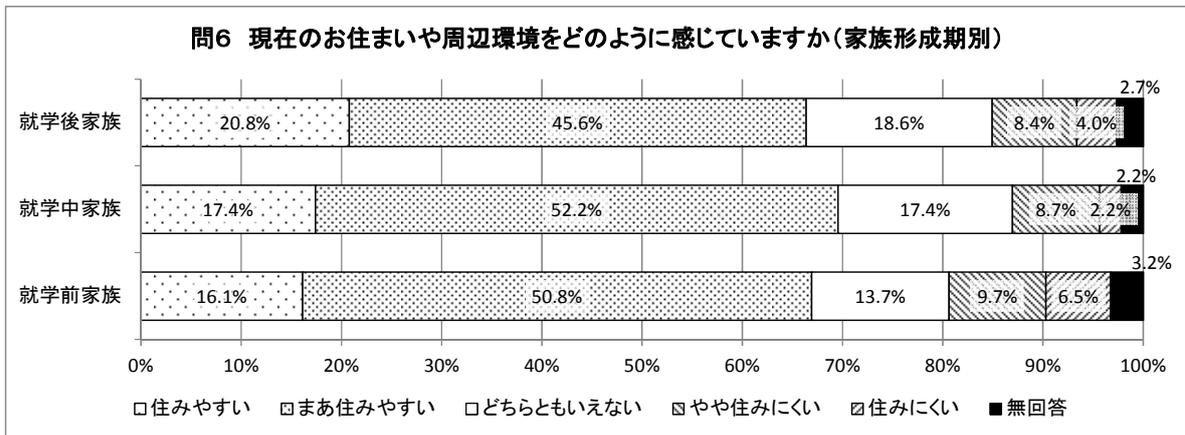
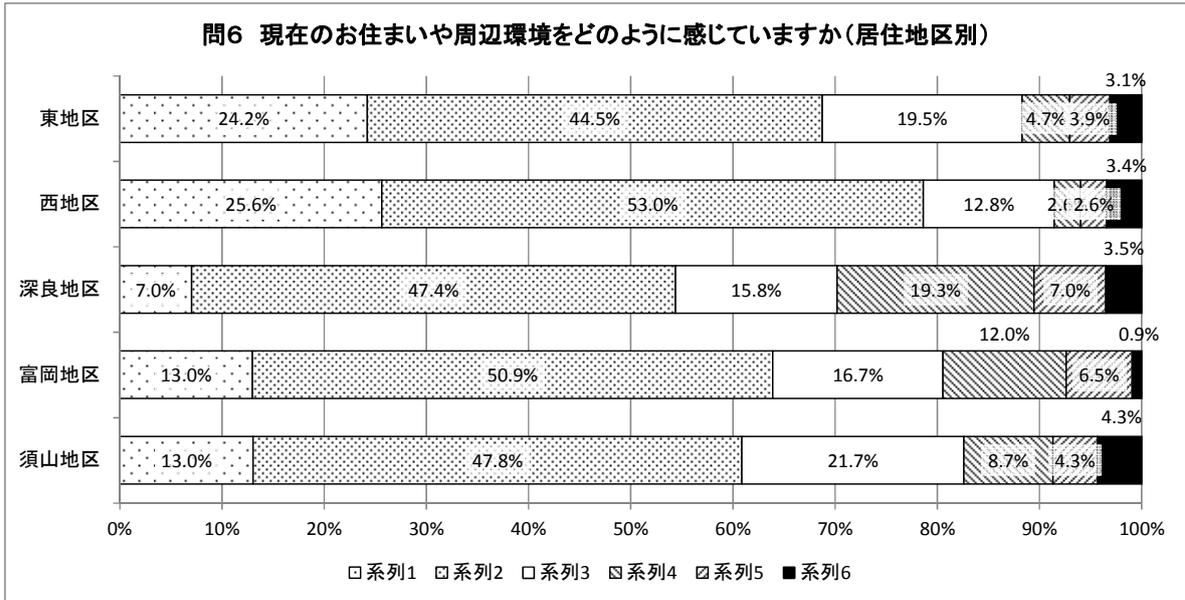
「住みやすい」「まあ住みやすい」を合わせて67.5%、「やや住みにくい」「住みにくい」を合わせて12.9%、「どちらともいえない」16.9%であり、住まいや周辺環境への満足度は比較的高いといえる。

年代別にみると、年齢が高くなるにつれて「やや住みにくい」「住みにくい」の割合は低下していく傾向を示している。

居住地区別にみると、西地区で「住みやすい」「まあ住みやすい」を合わせて78.6%で最も高い割合となっている。次いで、東地区68.7%、富岡地区63.9%となっている。

家族形成期別にみると、就学後家族で「住みやすい」が20.8%で最も高い割合となっているが、「住みやすい」「まあ住みやすい」を合わせると、就学中家族が69.6%で最も高い割合となっている。





問7 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。

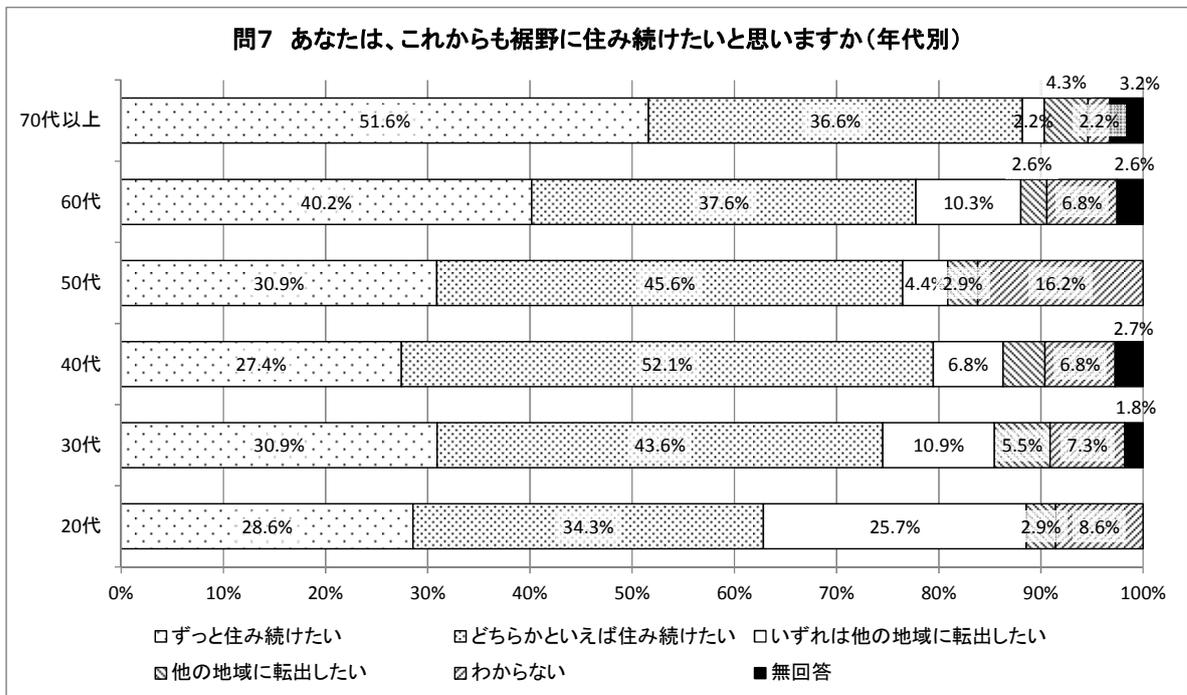
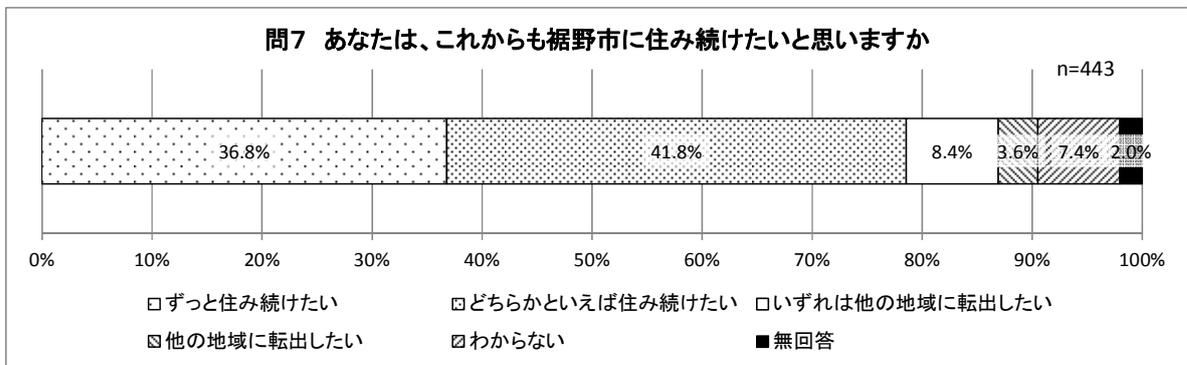
「どちらかといえば住み続けたい」41.8%、「ずっと住み続けたい」36.8%を合わせて、約8割が住み続けたいと回答している。「いずれは他の地域に転出したい」「他の地域に転出したい」は合わせて12.0%である。

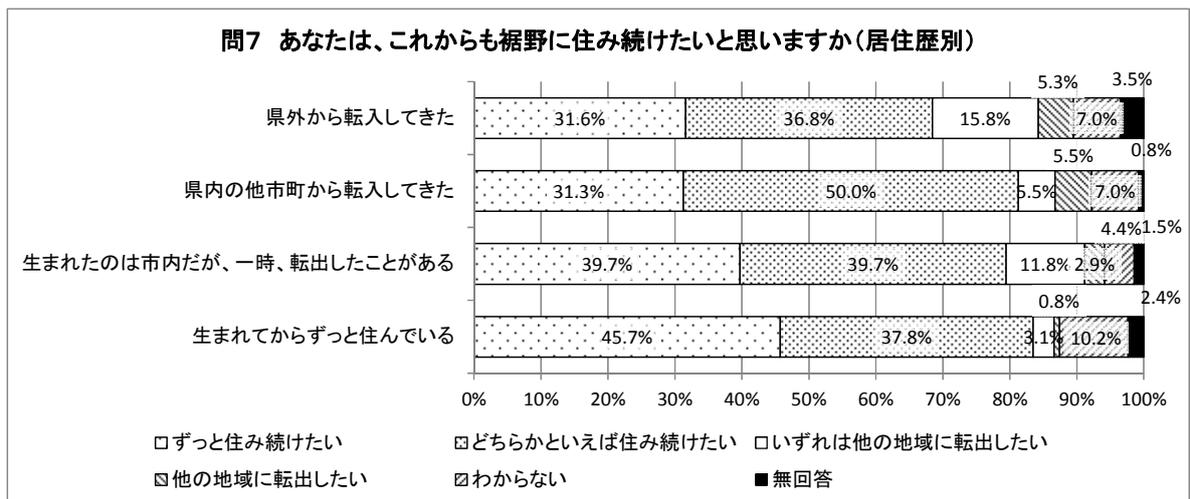
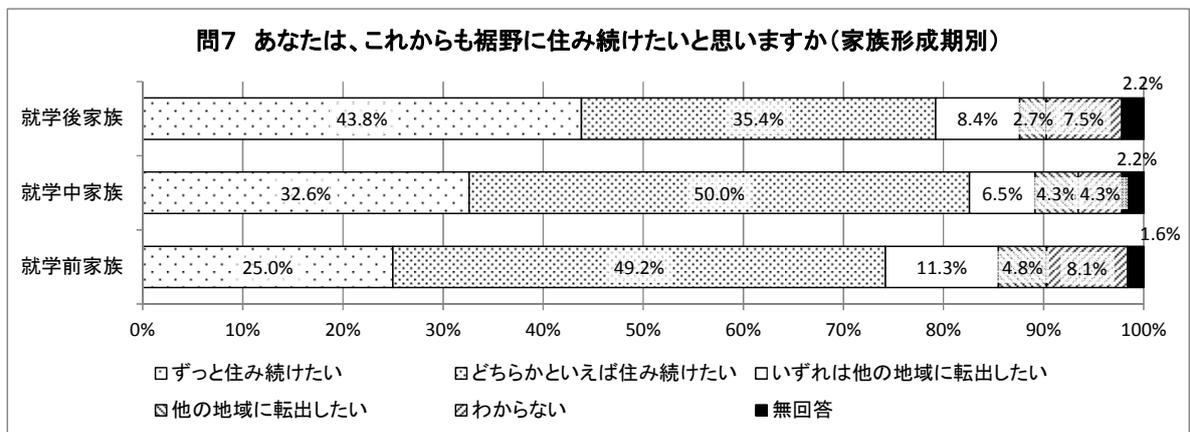
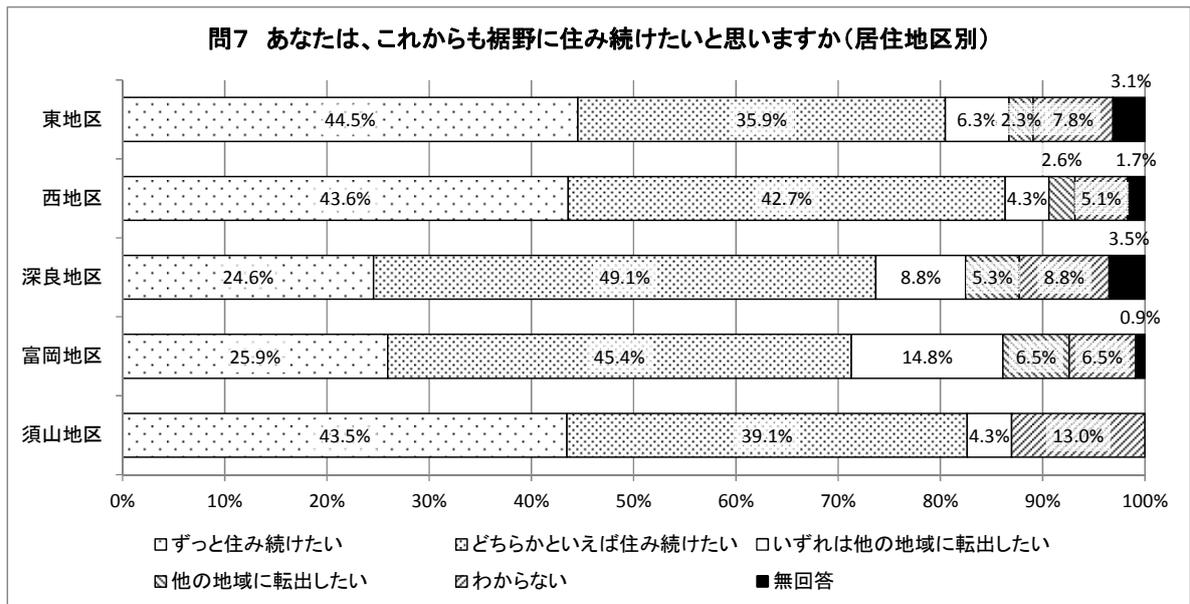
年代別にみると、年齢が高くなるにつれて「ずっと住み続けたい」の割合が高くなっていく傾向を示している。「いずれは他の地域に転出したい」の割合は、年代が高くなるにつれて低くなっていく傾向を示している。

居住地区別にみると、深良地区、富岡地区で「ずっと住み続けたい」の割合が他の地区に比べて低く、「いずれは他の地域に転出したい」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

家族形成期別にみると、「ずっと住み続けたい」の割合は、就学後家族で最も高い割合を示しており、次いで、就学中家族となっている。

居住歴別にみると、「ずっと住み続けたい」の割合は、生まれてからずっと住んでいる方で最も高い割合を示しており、次いで生まれたのは市内だが、一時、転出したことがある方となっている。





問8 (問7で「いずれは他の地域に転出したい」「他の地域に転出したい」を選んだ方) 転出先としては、どの地域を希望しますか。

「裾野市外」が79.2%で最も高い割合となっている。次いで、「具体的には決めていない」が18.9%である。

年代別にみると、20代で「裾野市内」が10%、30代では「具体的には決めていない」が33%をそれぞれ占めており、特徴的である。

居住地区別にみると、富岡地区で「裾野市内」への移動希望がある。

家族形成期別にみると、就学前家族で「裾野市内」への移動希望がある。

